

国語科

■■■■ 目標 ■■■■

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

■■■■ 各分野の目標 ■■■■

【第1学年】

- 目的や場面に応じ、日常生活にかかわることなどについて構成を工夫して話す能力、話し手の意図を考えながら聞く能力、話題や方向を捉えて話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えを求めようとする態度を育てる。
- 目的や意図に応じ、日常生活にかかわることなどについて、構成を考えて的確に書く能力を身に付けさせるとともに、進んで文章を書いて考えをまとめようとする態度を育てる。
- 目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確にとらえる能力を身に付けさせるとともに、読書を通してものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。

【第2学年】

- 目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて、立場や考えの違いを踏まえて話す能力、考えを比べながら聞く能力、相手の立場を尊重して話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えを広げようとする態度を育てる。
- 目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、構成を工夫して分かりやすく書く能力を身に付けさせるとともに、文章を書いて考えを広げようとする態度を育てる。
- 目的や意図に応じ、文章の内容や表現の仕方に注意して読む能力、広い範囲から情報を集め、効果的に活用する能力を身に付けさせるとともに、読書を生活に役立てようとする態度を育てる。

【第3学年】

- 目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて、相手や場に応じて話す能力、表現の工夫を評価して聞く能力、課題の解決に向けて話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えを深めようとする態度を育てる。
- 目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、論理の展開を工夫して書く能力を身に付けさせるとともに、文章を書いて考えを深めようとする態度を育てる。
- 目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通じて自己を向上させようとする態度を育てる。

■■■■ 評価の観点と方法 ■■■■

観点①……知識及び技能

観点②……思考力、判断力、表現力等

観点③……主体的に取り組む態度 学に向かう力、人間性等

| 評価方法 | 観点① | 観点② | 観点③ |
|----------------------------|-----|-----|-----|
| 授業への参加姿勢(発言の内容・集中度) | | | ○ |
| ノートの記述・内容工夫、ワーク、問題集の実施状況 | | ○ | ○ |
| 朗読、暗誦の内容や工夫 | ○ | ○ | ○ |
| スピーチ、発表、プレゼンテーションの内容や工夫 | ○ | ○ | ○ |
| 聞き取りテストの結果 | ○ | ○ | |
| 読書感想文、課題作文、意見文の内容 | ○ | ○ | ○ |
| 創作俳句、短歌の作品の状況・鑑賞の取り組み | | ○ | ○ |
| 課題レポート・課題の内容取り組み姿勢 | | ○ | ○ |
| 硬筆書写・毛筆書写の作品 | ○ | | ○ |
| 定期考査の結果 | ○ | ○ | |
| 授業課題・小テスト(読解問題・文学史問題など)の結果 | ○ | ○ | ○ |
| 漢字テスト・文法テストの結果 | ○ | | ○ |
| デジタルドリルへの取り組み | | | ○ |

■■■■ 各学年の内容 ■■■■

| | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
|-------------|--|---|---|
| 一 学 期 | 1. 朝のリラ | 1. 見えないだけ | 1. 世界はうつくしいと |
| | 2. 声を届ける 野原はうたう | 2. アイスプラネット 漢字に親しもう1 | 2. 握手 漢字に親しもう |
| | 3. 書き留める 言葉を調べる 続けてみよう | 3. [聞く]意見を聞き、整理して検討する | 3. [聞く]意見を聞き、適切さを判断する |
| | 4. はじまりの風 | 4. 文法への扉1 単語をどう分ける? | 4. 文法への扉1 「走って」いるのは誰? 文法1 文法を生かす |
| | 5. [聞く]情報を聞き取り、要点を伝える | 5. 枕草子 [書く]自分流「枕草子」を書こう | 5. 説得力のある構成を考えよう スピーチで心を動かす |
| | 6. 言葉1 音声の仕組みや働き | 6. クマゼミ増加の原因を探る | 6. 言葉1 相手や場に応じた言葉遣い |
| | 7. 話の構成を工夫しよう 一枚の写真をもとにスピーチをする | 7. 情報整理のレッスン 思考の視覚化 | 7. 学びて時に之を習ふー「論語」から漢文の訓読 |
| | 8. 漢字の組み立てと部首 漢字に親しもう | 8. 情報を整理して伝えよう 職業アイドルを作る | 8. 作られた「物語」を超えて |
| | 9. ダイコンは大きな根? | 9. 漢字1 熟語の構成 漢字に親しもう2 | 9. 思考のレッスン 具体化・抽象化 |
| | 10. ちょっと立ち止まって | 10. 思考のレッスン 具体と抽象 | 10. 論理の展開を意識して書こう |
| | 11. 情報整理のレッスン 比較・分類 | 11. 魅力的な提案をしよう | 11. グラフを基に小論文を書く |
| | 12. 情報を整理して説明しよう 発見したことを分かりやすく書く | 12. 漢字に親しもう2 | 12. 漢字1 熟語の読み方 漢字に親しもう2 |
| | 13. 言葉2 指示する語句と接続する語句 | 13. 短歌に親しむ 短歌を味わう [書く]短歌を作ろう | 13. 俳句の可能性 [書く]俳句の創作 教室 俳句を味わう |
| | 14. 空の詩三編 [書く]氏の創作教室 言葉3 様々な表現技法 | 14. 言葉の力 | 14. 言葉の釣り糸を垂らす |
| | 15. 比喩で広がる言葉の世界 | 15. 言葉1 類義語・対義語・多義語 抽象的な概念を表す言葉 | 15. 言葉2 和語・漢語・外来語 語彙を豊かに 時代や世代による言葉の変化 |
| | 16. 文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう | 16. メディアの特徴を生かして情報を集めよう/デジタル市民として生きる | 16. 実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう |
| | 17. 語彙を豊かに 心情を表す言葉 | 17. 読書を楽しむ | 17. 情報整理のレッスン 情報の信頼性 |
| | 18. 情報収集の達人になろう コラム 著作権についてしろう | 18. 翻訳作品を読み比べよう 星の王子様 読書コラム「わからない」は人生の宝物 読書案内 本の世界を広げよう | 18. 読書を楽しむ |
| | 19. 読書を楽しむ 本の中の中学生あと少し、もう少し/西の魔女が死んだ 読書案内 本の世界を広げよう コラム 本との出会い | 19. 書写～楷書 | 19. 「私の一冊」を探しに行こう 羊と鋼の森 読書案内 本の世界を広げよう コラム ためになるってどんなこと |
| | 20. 書写～楷書 | | 20. 書写～行書 |

| | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
|-------------|--|---|--|
| 二 学 期 | 1. 大人になれなかった弟たちに… | 1. ヒューマノイド | 1. 挨拶—原爆の写真によせて |
| | 2. 星の花が降るころに | 2. 字のない葉書 | 2. 故郷 |
| | 3. 項目を立てて書こう 聞き上手になろう | 3. 表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く | 3. 【推敲】論理の展開を整える |
| | 4. 【推敲】読み手の立場に立つ | 4. 【推敲】表現の効果を考える | 4. 言葉3 慣用句・ことわざ・故事成語 |
| | 5. 言葉4 方言と共通語 | 5. 言葉2 敬語 | 5. 漢字2 漢字の造語力 |
| | 6. 聞き上手になろう 質問で話を引き出す | 6. 聞き上手になろう 質問で思いや考えを引き出す | 6. 複数の意見を読んで考えよう—正解が一つに決まらない課題と向き合う |
| | 7. 漢字2 漢字の音訓 漢字に親しもう2 | 7. 漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字 漢字に親しもう3 | 7. 考えを効果的に伝えよう 多角的に分析して書こう |
| | 8. 「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ | 8. モアイは語る—地球の未来 | 8. 漢字に親しもう3 文法への扉2 「ない」の違いがわからない？ |
| | 9. 思考のレッスン2 意見と根拠 | 9. 思考のレッスン2 根拠の吟味 | 9. 聴きひたる 初恋 |
| | 10. 根拠を示して説明しよう 資料を引用して報告する | 10. 根拠の適切さを考えて書こう—意見文を書く | 10. 和歌の世界 古今和歌集仮名序 音読を楽しむ 古今和歌集 仮名序 |
| | 11. 漢字に親しもう3 | 11. 聴きひたる 月夜の浜辺 | 11. 君待つと—万葉・古今・新古今 |
| | 12. 文法への扉2 言葉の関係を考えよう | 12. 音読を楽しもう 平家物語 「平家物語」の世界/「平家物語」の主な登場人物たち | 12. 夏草—「おくのほそ道」から |
| | 13. 聴きひたる 大阿蘇 | 13. 扇の的一「平家物語」から | 13. つながる古典 古典名作選 【書く】古典の言葉を引用し、メッセージを送ろう |
| | 14. 音読を楽しもう いろは歌 古典の世界 | 14. 仁和寺にある法師—「徒然草」から【書く】人物の特徴を捉えて論じよう | 14. それでも、言葉を |
| | 15. 蓬萊の玉の枝 | 15. 漢詩の風景 | 15. 漢字3 漢字のまとめ 漢字に親しもう4 |
| | 16. 今に生きる言葉 【書く】故事成語を使って体験文を書こう 漢文を読む | 16. 君は「最後の晚餐」を知っているか 「最後の晚餐」の新しさ | 16. 【話し合い（進行）】話し合いを効果的に進めよう |
| | 17. 「不便」の価値を見つめなおす 【書く】筆者の主張に対する自分の意見を書こう | 17. 【話し合い】話し合いの流れを整理しよう | 17. 合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く |
| | 18. 思考のレッスン2 原因と結果 | 18. 立場を尊重して話し合おう 討論で視野を広げる | 18. 本は世界への扉 天、共に在り 極夜行 読書案内 本の世界を広げよう |
| | 19. 漢字に親しもう4 | 19. 漢字に親しもう4 | 19. 書写—書写の活用 |
| | 20. 【話し合い】進め方について考えよう | 20. 文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。 | |
| | 21. 話題や展開を捉えて話し合おう グループで語り合い、もの見方を広げる | 21. 「自分らしさ」を認め合う社会へ 父と話せば/六千回のトライの先に 読書案内 本の世界を広げよう | |
| | 22. 研究の現場へようこそ 四百年のスローライフ/はやぶさ2 最強のミッションの真実 読書案内 本の世界を広げよう | 22. 書写—行書 | |
| | 23. 書写—行書 | | |

| | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
|--|-----------------------------|--------------------------------|-------------------------------|
| 三 学 期 | 1. 少年の日の思い出 | 1. 走れメロス【書く】作品の魅力をまとめ、語り合おう | 1. 暖かいスープ |
| | 2. 漢字に親しもう5 | 2. 漢字に親しもう5 | 2. アラスカとの出会い 律儀な桜 わたしを束ねないで |
| | 3. 文法への扉3 単語の性質を見つけよう | 3. 文法への扉3 一字違いで大違い | 3. 三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて発表会をする |
| | 4. 二十歳になった日 | 4. 描写を工夫して書こう 心の動きが伝わるように物語を書く | 4. 初日 漢字に親しもう5 |
| | 5. 構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く | 5. 言葉3 話し言葉と書き言葉 | 5. 国語の力試し |
| | 6. 漢字3 漢字の成り立ち 漢字に親しもう6 | 6. 漢字3 送り仮名 | 6. 書写 文字文化を学ぶ |
| | 7. 一年間の学を振り返ろう | 7. 国語の学を振り返ろう | |
| | 8. 僕がここに | 8. 謎 | |
| | 9. 書写—行書 | 9. 書写—行書 | |
| なお、各学期ごとにデジタルドリルへの取り組みを活用し、漢字学習の振り返りを行う。 | | | |

評価・評定のライン

| 観点別学習状況の評価 | | 学習の実現状況 | 各評定の範囲 | | 評定 | |
|------------|-----------|-------------|-------------|---|-----------|--|
| A | 十分満足できる | 80%以上 | 90%以上 | 5 | 特に高い程度のもの | |
| B | おおむね満足できる | 50%以上 80%未満 | 80%以上 90%未満 | 4 | 十分満足できる | |
| C | 努力を要する | 50%未満 | 50%以上 80%未満 | 3 | おおむね満足できる | |
| | | | 20%以上 50%未満 | 2 | 努力を要する | |
| | | | 20%未満 | 1 | 一層努力を要する | |

社会科

目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。

各分野の目標

【地理的分野】

- 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事情や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 日本や世界の諸地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情・世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深める。

【歴史的分野】

- 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。

【公民的分野】

- 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活と向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論する力を養う。
- 現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。

評価の観点と方法

- 観点①… 基本的な知識を身に付けている。資料に親しみ、効果的に活用することができる。
 観点②… 社会的な思考・判断ができる。その過程や結果を適切に表現できる。
 観点③… 主体的に学習に取り組む態度が身に付いている。

| 評価方法 (主要なもの) | 観点① | 観点② | 観点③ |
|---------------------------------|-----|-----|-----|
| 授業への参加の姿勢・ドリルコンテンツ等、課題や提出物の取り組み | ○ | ○ | ○ |
| ノートやワークシートの内容や工夫 | ○ | ○ | ○ |
| 小テスト・まとめのテストの結果 | ○ | ○ | ○ |
| 定期考査の結果 | ○ | ○ | ○ |

| | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
|--------|---|---|---|
| 学 期 | <p><地理的分野></p> <p>第1部 世界と日本の地域構成</p> <p>○世界の姿</p> <ol style="list-style-type: none"> 私たちの住む地球を眺めて いろいろな国の国名と位置 緯度と経度 地球儀と世界地図の違い <p>○日本の姿</p> <ol style="list-style-type: none"> 世界の中での日本の位置 時差でとらえる日本の位置 日本の領域 都道府県と県庁所在地 <p>第2部 世界のさまざまな地域</p> <p>○人々の生活と環境</p> <ol style="list-style-type: none"> 世界のさまざまな生活と環境 暑い地域の暮らし 乾燥した地域の暮らし 温暖な地域の暮らし 寒い地域の暮らし 高地の暮らし 衣食住とその変化 生活と宗教の関わり <p><歴史的分野></p> <p>○歴史のとらえ方と調べ方</p> <ol style="list-style-type: none"> 歴史の流れと時代区分 歴史の調べ方・まとめ方発表の仕方 <p>○古代国家の成立と東アジア</p> <ol style="list-style-type: none"> 人類の登場から文明の発展へ 人類がたどった進化 世界各地で生まれる文明 東アジアの文明の広がり ギリシャとローマの政治と文明 仏教・キリスト教・イスラム教の誕生 | <p><地理的分野></p> <p>第3部 日本のさまざまな地域</p> <p>○身近な地域の調査</p> <p>○日本の地域的特色</p> <ol style="list-style-type: none"> 山がちな日本の地形 川がつくる地形 日本の気候 日本の自然災害 自然災害に対する備え <p><歴史的分野></p> <p>○武家政権の展開と世界の動き</p> <ol style="list-style-type: none"> 大航海によって結びつく世界 ヨーロッパの変革 大航海時代の幕開け 東アジアの貿易と南蛮人 戦乱から全国統一へ 信長・秀吉による全国統一 秀吉が導いた近世社会 戦国大名と豪商が担った桃山文化 武士による全国支配の完成 幕藩体制の始まり 朱印船貿易から貿易統制へ 四つに絞られた貿易の窓口 琉球王国とアイヌ民族への支配 天下泰平の世の中 身分制の下での暮らし 安定する社会と諸産業の発達 各地を結ぶ陸の道・海の道 上方で栄えた町人の元禄文化 社会の変化幕府の対策 貨幣経済の広まり 繰り返される要求と改革 江戸の庶民が担った化政文化 | <p><歴史的分野> 続</p> <p>○二度の世界大戦と日本</p> <ol style="list-style-type: none"> 第一次世界大戦と民族独立の動き 第一次世界大戦の始まりと総力戦 第一次世界大戦の拡大と日本 第一次世界大戦後の欧米諸国 アジアの民族自決と国際協調 高まるデモクラシーの意識 護憲運動と政党内閣の成立 社会運動の高まりと男子普通選挙の実現 近代都市に現れた大衆文化 戦争に向かう世論 世界恐慌と行き詰る日本 欧米諸国が選択した道 強まる軍部と衰える政党 日中戦争と総力戦に向かう国民生活 第二次世界大戦の惨禍 第二次世界大戦への道 太平洋戦争と植民地支配の変化 戦局の悪化と戦時下の暮らし ポツダム宣言と日本の敗戦 <p><公民的分野></p> <p>第1部 第1章 現代社会と私たち</p> <p>第1節 現代社会の特色</p> <ol style="list-style-type: none"> 私たちが持続可能な社会 情報化が進む現代 グローバル化が進む現代 少子高齢化が進む現代 <p>第2節 私たちの生活と文化</p> <ol style="list-style-type: none"> 生活に息づく文化 日本の文化とその継承 <p>第3節 現代社会をとらえる枠組み</p> <ol style="list-style-type: none"> 社会的存在として生きる私たち 効率と公正 私たちがときまり <p>第2部 第1章 日本国憲法と私たち</p> <p>第1節 民主主義と日本国憲法</p> <ol style="list-style-type: none"> 民主主義と立憲主義 人権保障と法の支配 日本国憲法の成立と特色 日本国憲法における国民主権 日本の平和主義 <p>第2節 基本的人権の尊重</p> <ol style="list-style-type: none"> 個人の尊重と憲法上の権利 自由権 平等権と差別されない権利 平等権の実現に向けて 社会権 人権を守るための権利と制度 広がる人権の考え方 情報社会と人権 |

| | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
|-------------|--|--|---|
| 二 学 期 | <p><地理的分野> ○世界の諸地域 アジア州</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自然環境 2 農業・文化と経済発展 3 中国 4 韓国 5 東南アジア 6 南アジア 7 中央アジア・西アジア <p>ヨーロッパ州</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自然環境 2 文化の共通性と多様性 3 EUの成り立ちと影響 4 農業とEUの影響 5 鉱業とEUの影響 6 EUが抱える課題 <p>アフリカ州</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自然環境 2 歴史と文化 3 特定の輸出品に頼る経済 4 課題とその取り組み <p><歴史的分野></p> <ol style="list-style-type: none"> 2 東アジアの中の倭（日本） 縄文から弥生への変化 ムラがまとまりクニへ 鉄から見えるヤマト王権 3 中国にならった国家づくり ヤマト王権と仏教伝来 揺れ動くアジアと倭国 律令国家での暮らし 大陸の影響を受けた天平文化 4 展開する天皇・貴族の政治 権力を握った貴族たち 唐風から日本風へ変わる文化 | <p><地理的分野></p> <ol style="list-style-type: none"> 6 日本の人口 7 日本の資源・エネルギー 8 日本の農業・林業・漁業 9 日本の工業とその変化 10 日本の商業・サービス業 11 日本の交通網・通信網 12 さまざまな地域区分 <p>○日本の諸地域</p> <p>九州地方</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自然環境 2 人々の生活 3 農業 4 都市や産業の発展 5 南西諸島 <p>中国・四国地方</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自然環境 2 交通網の整備と人々の生活 3 瀬戸内の工業 4 農業 5 人々を呼び寄せる地域の取り組み <p>近畿地方</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自然環境 2 琵琶湖と京阪神大都市圏 3 工業 4 奈良・京都と歴史的景観 5 林業と漁業 <p>中部地方</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自然環境 2 東海地方の工業 3 東海の農業 4 中央高地の産業 5 北陸の産業 <p>関東地方</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自然環境 2 首都東京 3 拡大する東京大都市圏 4 人口の集中 5 工業 6 農業と過疎問題 <p>東北地方</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自然環境 2 伝統行事と生活・文化 3 稲作と畑作 4 果樹栽培と水産業 5 工業の発展 <p>北海道</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自然環境 2 人々の生活 3 稲作 4 畑作や酪農・漁業 5 自然を生かした観光 | <p><公民的分野></p> <p>第3節 法の支配を支えるしくみ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 権力の分立 2 憲法の保障・改正と私たち <p>第2章 政治と私たち</p> <p>第1節 民主政治と私たち</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 民主主義と政治 2 世論とメディア 3 政党の役割 4 選挙制度とその課題 <p>第2節 国の政治のしくみ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 国会の役割としくみ 2 国会の審議と課題 3 内閣の役割と議院内閣制 4 行政の役割と課題 5 私たちの生活と裁判 6 法の支配と司法 <p>第3節 地方自治と私たち</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地方自治と地方公共団体 2 地方公共団体のしくみと住民参加 3 地方財政の現状と課題 4 私たちと政治参加 <p>第3部 第1章 経済活動と私たち</p> <p>第1節 経済のしくみと消費</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 経済活動のしくみ 2 家計と消費 3 変化する消費と流通 4 契約と消費者問題 <p>第2節 企業と生産</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 私たちの生活と企業 2 企業の種類と株式会社 3 企業の競争と独占 4 働くことの意義と労働者の権利 5 労働環境の変化と私たち 6 企業の社会的責任 <p>第3節 市場経済と金融のしくみ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 市場経済と価格の働き 2 お金の役割 3 金融のしくみと働き 4 日本銀行と金融政策 <p>第4節 財政と私たち</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 私たちの生活と財政 2 国の支出と収入 3 社会資本と環境保全 4 社会保障と少子高齢化 5 これからの日本の財政 <p>第5節 日本経済の課題とこれから</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 安定した経済成長へ 2 グローバル化と日本経済 3 これからの日本経済 |
| | 三 学 期 | <p><地理的分野> ○世界の諸地域 北アメリカ州</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自然環境 2 移民の歴史と民族構成 3 農業 4 工業 5 生産と消費の問題 <p>南アメリカ州</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自然環境 2 多様な民族と文化 3 農業と工業 4 方洲の開発・環境保全 <p>オセアニア州</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自然環境 2 歴史と多文化社会 3 他地域と結びつく産業 <p><歴史的分野></p> <p>○武家政権の成長と東アジア</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 武士の世の始まり 各地で生まれる武士団 朝廷と結びつく武士 鎌倉を中心とした武家政権 武士や僧侶たちが広めた鎌倉文化 2 武家政権の内と外 モンゴル帝国と「蒙古襲来」 南北朝の内乱と新たな幕府 東アジアの交易と倭寇 琉球とアイヌ民族がつなぐ交易 4 人々の結びつきが強まる社会 技術の発達とさまざまな職業 団結して自立する民衆 全国に広がる下克上 庶民に広がる室町文化 | <p><地理的分野></p> <p>第4部 ○地域のあり方</p> <p><歴史的分野></p> <p>○近代国家の歩みと国際社会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 欧米諸国における近代化 市民革命の始まり 人権思想からフランス革命へ 産業革命と資本主義の成立 欧米諸国の近代国家建設 世界進出を目指す欧米諸国 2 開国と幕府の終わり 日本を取り巻く世界情勢の変化 諸藩の改革と幕府の衰退 黒船来航の衝撃と開国 江戸幕府の滅亡 3 明治政府による近代化の始まり 新政府による改革 富国強兵を目指して 文明開化と新政府の政策 4 近代国家への歩み 新たな外交と国境の画定 沖縄・北海道と近代化の波 自由と民権を求めて 帝国憲法の成果と課題 5 帝国主義と日本 アジアの列強を目指して 朝鮮をめぐる対立日清戦争 世界が目にした日露戦争 塗り替えられたアジアの地図 6 アジアの強国の光と影 近代日本を支えた糸と鉄 変わる都市と農村 欧米の影響を受けた近代文化 |

| | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
|-------------|--|---|--|
| 二 学 期 | <p><地理的分野> ○世界の諸地域 北アメリカ州</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自然環境 2 移民の歴史と民族構成 3 農業 4 工業 5 生産と消費の問題 <p>南アメリカ州</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自然環境 2 多様な民族と文化 3 農業と工業 4 方洲の開発・環境保全 <p>オセアニア州</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自然環境 2 歴史と多文化社会 3 他地域と結びつく産業 <p><歴史的分野></p> <p>○武家政権の成長と東アジア</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 武士の世の始まり 各地で生まれる武士団 朝廷と結びつく武士 鎌倉を中心とした武家政権 武士や僧侶たちが広めた鎌倉文化 2 武家政権の内と外 モンゴル帝国と「蒙古襲来」 南北朝の内乱と新たな幕府 東アジアの交易と倭寇 琉球とアイヌ民族がつなぐ交易 4 人々の結びつきが強まる社会 技術の発達とさまざまな職業 団結して自立する民衆 全国に広がる下克上 庶民に広がる室町文化 | <p><地理的分野></p> <p>第4部 ○地域のあり方</p> <p><歴史的分野></p> <p>○近代国家の歩みと国際社会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 欧米諸国における近代化 市民革命の始まり 人権思想からフランス革命へ 産業革命と資本主義の成立 欧米諸国の近代国家建設 世界進出を目指す欧米諸国 2 開国と幕府の終わり 日本を取り巻く世界情勢の変化 諸藩の改革と幕府の衰退 黒船来航の衝撃と開国 江戸幕府の滅亡 3 明治政府による近代化の始まり 新政府による改革 富国強兵を目指して 文明開化と新政府の政策 4 近代国家への歩み 新たな外交と国境の画定 沖縄・北海道と近代化の波 自由と民権を求めて 帝国憲法の成果と課題 5 帝国主義と日本 アジアの列強を目指して 朝鮮をめぐる対立日清戦争 世界が目にした日露戦争 塗り替えられたアジアの地図 6 アジアの強国の光と影 近代日本を支えた糸と鉄 変わる都市と農村 欧米の影響を受けた近代文化 | <p><公民的分野></p> <p>第4部 第1章 国際社会と私たち</p> <p>第1節 国際社会のしくみ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 国家と国際社会 2 領土をめぐる取り組み 3 国際連合の役割と課題 4 持続可能な国際社会に向けて <p>第2節 地球的課題とその解決</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 現代における紛争 2 兵器の脅威と軍縮の意義 3 地球規模で広がる環境問題 4 資源・エネルギーの問題 5 脱炭素社会に向けた取り組み 6 国際社会の変化 7 貧困問題とその解消 8 国際社会における日本の役割 |
| 三 学 期 | <p><地理的分野> ○世界の諸地域 北アメリカ州</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自然環境 2 移民の歴史と民族構成 3 農業 4 工業 5 生産と消費の問題 <p>南アメリカ州</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自然環境 2 多様な民族と文化 3 農業と工業 4 方洲の開発・環境保全 <p>オセアニア州</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自然環境 2 歴史と多文化社会 3 他地域と結びつく産業 <p><歴史的分野></p> <p>○武家政権の成長と東アジア</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 武士の世の始まり 各地で生まれる武士団 朝廷と結びつく武士 鎌倉を中心とした武家政権 武士や僧侶たちが広めた鎌倉文化 2 武家政権の内と外 モンゴル帝国と「蒙古襲来」 南北朝の内乱と新たな幕府 東アジアの交易と倭寇 琉球とアイヌ民族がつなぐ交易 4 人々の結びつきが強まる社会 技術の発達とさまざまな職業 団結して自立する民衆 全国に広がる下克上 庶民に広がる室町文化 | <p><地理的分野></p> <p>第4部 ○地域のあり方</p> <p><歴史的分野></p> <p>○近代国家の歩みと国際社会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 欧米諸国における近代化 市民革命の始まり 人権思想からフランス革命へ 産業革命と資本主義の成立 欧米諸国の近代国家建設 世界進出を目指す欧米諸国 2 開国と幕府の終わり 日本を取り巻く世界情勢の変化 諸藩の改革と幕府の衰退 黒船来航の衝撃と開国 江戸幕府の滅亡 3 明治政府による近代化の始まり 新政府による改革 富国強兵を目指して 文明開化と新政府の政策 4 近代国家への歩み 新たな外交と国境の画定 沖縄・北海道と近代化の波 自由と民権を求めて 帝国憲法の成果と課題 5 帝国主義と日本 アジアの列強を目指して 朝鮮をめぐる対立日清戦争 世界が目にした日露戦争 塗り替えられたアジアの地図 6 アジアの強国の光と影 近代日本を支えた糸と鉄 変わる都市と農村 欧米の影響を受けた近代文化 | <p><公民的分野></p> <p>第4部 第1章 国際社会と私たち</p> <p>第1節 国際社会のしくみ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 国家と国際社会 2 領土をめぐる取り組み 3 国際連合の役割と課題 4 持続可能な国際社会に向けて <p>第2節 地球的課題とその解決</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 現代における紛争 2 兵器の脅威と軍縮の意義 3 地球規模で広がる環境問題 4 資源・エネルギーの問題 5 脱炭素社会に向けた取り組み 6 国際社会の変化 7 貧困問題とその解消 8 国際社会における日本の役割 |

※評価・評定のラインについては他の教科と同様です。

| | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
|-------------|---|--|---|
| 一 学 期 | <p>整数の性質</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倍数と約数について見直す。 ・自然数を素数と素数でない数に分類する。 <p>自然数、素数、素因数分解</p> | <p>1章「式の計算」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字を2つ以上含む式の計算方法に関心を持ち、それらを計算する。 ・整式の加減、多項式と数の乗除、単項式の乗除の計算をする。 ★問題解決のために、文字式の計算をして、式を変形する。 ・数の性質が成り立つことを文字を使って説明する。 ・事象を、文字を用いて表して、その意味を読み取ったり変形するなど、文字式を利用する。 ・デジタルドリルを活用して学習内容の復習をする。 <p>単項式、多項式、次数、1次式、同類項</p> | <p>1章「多項式」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単項式や多項式の乗法や除法の計算をする。 ・式の展開や因数分解の公式を用いて多項式を処理し、問題解決に生かす。 ★数や図形の性質が成り立つことを文字を使って説明する。 ・デジタルドリルを活用して学習内容の復習をする。 <p>展開、乗法公式、因数、因数分解</p> |
| | <p>1章「正負の数」</p> <ul style="list-style-type: none"> ★正負の数を利用して、身のまわりの問題を解決する。 ・身のまわりの事象や、互いに反対の性質をもつ量を、正負の数を用いて表す。 ・正負の数を数直線上に表し、また数直線上の点を正負の数を用いて表す。 ・正負の数の大小関係を、不等号を用いて表す。 ・正負の数の四則計算をする。 ・正負の数に関する用語の意味を理解する。 ・デジタルドリルを活用して学習内容の復習をする。 <p>プラス、マイナス、正の数、負の数、自然数、原点、正の方向、負の方向、不等号、絶対値、交換法則、結合法則、項、四則(加減乗除)、分配法則、2乗、3乗、平方、立方、累乗、指数、逆数</p> | <p>2章「連立方程式」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連立方程式やその解について関心を持ち、その解き方を考えて解を求める。 ・文字を2つ用いて方程式を作ることによって、問題解決の場面が広がったり、解決が容易になったりすることに気づく。 ・連立方程式を、形に応じて適切に解く。 ★具体的な場面で、数量の間の関係を捉えて連立方程式を作り、その答えを求める。 ・デジタルドリルを活用して学習内容の復習をする。 <p>2元1次方程式、連立方程式、解、解く、消去する、加減法、代入法</p> | <p>2章「平方根」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有理数と無理数の意味を知る。 ・近似値をもとに、真の値の範囲を、不等号を用いて表す。 ・近似値や誤差について考える。 ・素数や素因数分解を用いて、数のしくみを調べる。 ・根号をふくむ式を簡単な形または必要な形に変形する。 ・不等号(>、<)を用いて、平方根の大小関係を表す。 ・分母の有理化を利用して、数を変形する。 ・デジタルドリルを活用して学習内容の復習をする。 <p>平方根、根号、√、因数、素数、素因数、素因数分解、分母の有理化、無理数、有理数</p> |
| | <p>2章「文字と式」</p> <ul style="list-style-type: none"> ★色々な数量や公式などを、文字を用いて表したり、式の意味を読み取ったりする。 ・文字式の積や商の表し方の決まりを理解する。 ・文字式に数を代入して式の値を求める。 ・1次式の加減や、1次式と数の乗除の計算をする。 ・πをふくむ文字式の表し方の決まりを理解する。 ・数量の間の関係を等式や不等式で表す。 ・デジタルドリルを活用して学習内容の復習をする。 <p>代入する、式の値、項、係数、π、等式、左辺、右辺</p> | | <p>3章「2次方程式」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平方根の考えや因数分解を利用して2次方程式を解く。 ・平方根の意味に帰着させて、2次方程式を解く。 ★解の公式を用いて2次方程式を解く。 ★具体的な事象の中で2次方程式を作り、問題解決をする。 ・デジタルドリルを活用して学習内容の復習をする。 <p>2次方程式、解、解く、解の公式</p> |

目標

数量、図形などに関する基礎的な概念や原理・法則の理解を深め、数学的に表現し処理する技能を身に付け、事象を数理的に考察する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさ、数学的な見方や考え方のよさを知り、それらを進んで活用する態度を育てる。

各学年の目標

【第1学年】

- (1) 数を正の数と負の数まで拡張し、数の概念についての理解を深める。また、文字を用いることの意義及び方程式の意味を理解するとともに、数量などの関係や法則を一般的にかつ簡潔に表現し、処理できるようにする。
- (2) 平面図形や空間図形についての観察、操作や実験を通して、図形に対する直観的な見方や考え方を深めるとともに、論理的に考察する基礎を培う。
- (3) 具体的な事象を調べることを通して、比例、反比例の見方や考え方を深めるとともに、数量の関係を表現し考察する基礎を培う。
- (4) 目的に応じて資料を収集し、資料の傾向を読み取ったり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。

【第2学年】

- (1) 文字を用いた式と連立二元一次方程式、平面図形と数学的な推論、一次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断する力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。

【第3学年】

- (1) 数の平方根について理解し、数の概念についての理解を一層深める。また、目的に応じて計算したり式を変形したりする能力を一層伸ばすとともに、二次方程式について理解し、式を能率的に活用できるようにする。
- (2) 図形の相似や三平方の定理について、観察、操作や実験を通して理解し、それらを図形の性質の考察や計量に用いる能力を伸ばすとともに、図形について見通しをもって論理的に考察し表現する能力を伸ばす。
- (3) 具体的な事象を調べることを通して、関数 $y=ax^2$ について理解するとともに、関数関係を見いだし表現し考察する能力を伸ばす。
- (4) 標本調査の意味やその方法を理解し、標本の傾向から母集団の傾向を読み取れる力を培う。

評価の観点と方法

- 観点①… 数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身につけている。事象を数量や図形などで数学的に表現し処理する技能を身につけている。
- 観点②… 事象を数学的にとらえて論理的に考察し表現することができている。課題を行う過程において、振り返って考えを深めたりするなど、数学的な思考力・判断力・表現力を身に付けている。
- 観点③… 数学的な事象に関心をもっているか。数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学を活用して考えたり、判断したりしようとしている。授業に意欲的に参加し、発言や発表を意欲的に行っている。課題を期限内に仕上げ、内容もしっかりと出来ているか。

| 評価方法 | 観点① | 観点② | 観点③ |
|--------------------------|-----|-----|-----|
| 授業中の発言の様子や内容・発表・授業への参加姿勢 | ○ | | ○ |
| グループ活動における意欲的な参加姿勢 | ○ | ○ | ○ |
| 宿題・提出物の内容 | ○ | ○ | ○ |
| プリント・ワークシート・レポートの内容・工夫 | ○ | ○ | ○ |
| 定期考査の結果 | ○ | ○ | |
| 単元テスト・小テストの結果 | ○ | ○ | |

| | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
|-------------|--|---|--|
| 二 学 期 | <p>3章「方程式」</p> <ul style="list-style-type: none"> 方程式とその解の意味を理解する。 等式の性質や移項の考えを用いて方程式を解く。 方程式を、形に応じた解き方を考えて解く。 具体的な問題を、方程式を活用して解く。 ★身のまわりの数量の間の関係を方程式に表し、それを解いて問題解決をする。 比例式の性質を利用して、問題を解く。 デジタルドリルを活用して学習内容の復習をする。 <p>方程式、解、解く、等式の性質、移項、分母をはらう、1次方程式、不等式、\geq、\leq、比の値、比例式</p> <p>4章「比例と反比例」</p> <ul style="list-style-type: none"> 関数の関係を調べ、式などで表す。 平面上の点の位置を表す方法を考える。 比例や反比例の関係を、表や式、グラフなどを用いて表し、その特徴を調べる。 ★具体的な事象について、比例・反比例の見方、考え方やグラフを利用して解決する。 デジタルドリルを活用して学習内容の復習をする。 <p>関数、変数、比例、比例定数、変域、座標軸、原点、座標、反比例、双曲線</p> <p>5章「平面図形」</p> <ul style="list-style-type: none"> 図形の移動の意味や性質を理解させる。 定規とコンパスのみを用いて作図できることに興味を持ち、その方法を考える。 ★図形の性質に着目し、基本の作図を利用し、目的に応じた図形を書く。 おうぎ形の弧の長さや面積を求める。 デジタルドリルを活用して学習内容の復習をする。 <p>線分、直線、半直線、中点、弧、弦、おうぎ形、中心角、多角形、正多角形、線対称、点対称、垂線、垂直二等分線、角の二等分線、接する、接線、接点、平行移動、回転移動、対称移動</p> | <p>3章「1次関数」</p> <ul style="list-style-type: none"> ★身のまわりの事象の中から2つの量の関係に関心を持ち、様々な方法で1次関数について調べる。 1次関数の関係を表や式、グラフなどを用いて表し、その特徴を調べる。 ★身のまわりに1次関数とみなせる事象が多くあることに気づき、その事象の考察に関数の見方や考え方を活用する。 2元1次方程式のグラフをかきことや2元1次方程式のグラフの交点の座標を利用して連立方程式の解を求める。 デジタルドリルを活用して学習内容の復習をする。 <p>関数、1次関数、変化の割合、切片、傾き</p> <p>4章「平行と合同」</p> <ul style="list-style-type: none"> ★平面図形の性質について、筋道を立てて考え、説明する。 対頂角や平行線と角の性質を利用して、角の大きさを求める。 基本的な図形の性質を予想し、そのことを論理的に考察する。 ★三角形の合同条件について興味を持ち、それらを用いて論理的な推論や証明をする。 デジタルドリルを活用して学習内容の復習をする。 <p>内角、外角、対頂角、同位角、錯角、証明合同、仮定、結論、三角形の合同条件</p> <p>5章「三角形と四角形」</p> <ul style="list-style-type: none"> 二等辺三角形や平行四辺形の色々な性質に関心を持ち、それらを演繹的に導く。 定理とその逆に関心を持ち、色々な場合についてその逆を考える。 ★直角三角形の合同条件を用いて、図形の性質を考察する。 ★二等辺三角形や平行四辺形の性質を用いて、図形の性質を考察する。 <p>頂角、底角、底辺、定義、定理、逆、斜辺、対辺、対角、\squareABCD、直角三角形の合同条件</p> | <p>4章「関数 $y=ax^2$」</p> <ul style="list-style-type: none"> 身のまわりの事象の中から放物線を描く事象を見いだす。 yがxの2乗に比例する関係を、表や式、グラフなどを用いて表し、その特徴を調べる。 $y=ax^2$のグラフをかいて、その特徴を調べる。 ★具体的な事象を、放物線と直線の考え方を活用して、解決する。 指数関数やグラフが階段状になる関数について考察する。 デジタルドリルを活用して学習内容の復習をする。 <p>放物線、変化の割合</p> <p>5章「相似な図形」</p> <ul style="list-style-type: none"> 2つの三角形が相似になる条件を調べる。 三角形の相似を利用して、距離や高さなどいろいろな線分の長さを求める。 ★三角形と比、平行線と比の性質を利用して、いろいろな図形の性質を考察する。 ★相似な図形の面積比と体積比の関係を調べる。 デジタルドリルを活用して学習内容の復習をする。 <p>相似、相似の中心、相似の位置にある、比の値、三角形の相似条件、三角形と比の定理、中点連結定理、平行線と比の定理</p> <p>6章「円」</p> <ul style="list-style-type: none"> 円周角の定理が成り立つことを証明し、円の色々な角の大きさを求める。 円周角と弧の定理から図形の性質を考察する。 円周角の定理の逆を用いて図形の性質を考察する。 デジタルドリルを活用して学習内容の復習をする。 <p>円周角</p> |
| | 三 学 期 | <p>6章「空間図形」</p> <ul style="list-style-type: none"> ★身の回りにある立体について観察、操作や実験を通して、調べる。 立体を、性質により分類する。 空間図形を、見取図や展開図、投影図を用いて平面上に表し、その性質を調べる。 ★柱体や錐体、球の表面積や体積について、観察や操作、実験を通して求める。 デジタルドリルを活用して学習内容の復習をする。 <p>多面体、正多面体、角柱、円柱、角錐、円錐、ねじれの位置にある、母線、回転体、表面積、側面積、底面積、投影図</p> <p>7章「データの分析と活用」</p> <ul style="list-style-type: none"> データを度数分布表やヒストグラムに表したり、また、相対度数を求め、データの傾向を読み取る。 データの範囲や代表値を求め、それらからデータの傾向を読み取る。 デジタルドリルを活用して学習内容の復習をする。 <p>階級、階級の幅、度数、度数分布表、ヒストグラム、度数折れ線、相対度数、範囲、代表値、平均値、メジアン、中央値、モード、最頻値、誤差、累積度数、累積相対度数</p> <p>ことからの起こりやすさ</p> <ul style="list-style-type: none"> 不確定なことがらの起こりやすさを、割合をもとにして考え、説明する。 <p>確率</p> | <p>5章「三角形と四角形」</p> <p>(前述)</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタルドリルを活用して学習内容の復習をする。 <p>6章「確率」</p> <ul style="list-style-type: none"> ★具体的な事象について、起こりうる場合について関心を持ち、それを順序よく整理して調べる。 起こりうる場合を、順序よく整理して考察する。 ★ある事象の起こる程度を数で表し、それを利用して考察する。 デジタルドリルを活用して学習内容の復習をする。 <p>同様に確からしい、樹形図</p> <p>7章「データの比較」</p> <ul style="list-style-type: none"> 四分位数や四分位範囲の意味を理解し、それらを求めて、箱ひげ図に表す。 四分位範囲や箱ひげ図の必要性を理解する。 ★箱ひげ図を用いて、複数のデータの分布の傾向を比較的に考察する。 デジタルドリルを活用して学習内容の復習をする。 <p>四分位数、第1四分位数、第2四分位数、第3四分位数、四分位範囲、箱ひげ図</p> |

| | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
|-------------|--|---|--|
| 二 学 期 | <p>3章「方程式」</p> <ul style="list-style-type: none"> 方程式とその解の意味を理解する。 等式の性質や移項の考えを用いて方程式を解く。 方程式を、形に応じた解き方を考えて解く。 具体的な問題を、方程式を活用して解く。 ★身のまわりの数量の間の関係を方程式に表し、それを解いて問題解決をする。 比例式の性質を利用して、問題を解く。 デジタルドリルを活用して学習内容の復習をする。 <p>方程式、解、解く、等式の性質、移項、分母をはらう、1次方程式、不等式、\geq、\leq、比の値、比例式</p> <p>4章「比例と反比例」</p> <ul style="list-style-type: none"> 関数の関係を調べ、式などで表す。 平面上の点の位置を表す方法を考える。 比例や反比例の関係を、表や式、グラフなどを用いて表し、その特徴を調べる。 ★具体的な事象について、比例・反比例の見方、考え方やグラフを利用して解決する。 デジタルドリルを活用して学習内容の復習をする。 <p>関数、変数、比例、比例定数、変域、座標軸、原点、座標、反比例、双曲線</p> <p>5章「平面図形」</p> <ul style="list-style-type: none"> 図形の移動の意味や性質を理解させる。 定規とコンパスのみを用いて作図できることに興味を持ち、その方法を考える。 ★図形の性質に着目し、基本の作図を利用し、目的に応じた図形を書く。 おうぎ形の弧の長さや面積を求める。 デジタルドリルを活用して学習内容の復習をする。 <p>線分、直線、半直線、中点、弧、弦、おうぎ形、中心角、多角形、正多角形、線対称、点対称、垂線、垂直二等分線、角の二等分線、接する、接線、接点、平行移動、回転移動、対称移動</p> | <p>3章「1次関数」</p> <ul style="list-style-type: none"> ★身のまわりの事象の中から2つの量の関係に関心を持ち、様々な方法で1次関数について調べる。 1次関数の関係を表や式、グラフなどを用いて表し、その特徴を調べる。 ★身のまわりに1次関数とみなせる事象が多くあることに気づき、その事象の考察に関数の見方や考え方を活用する。 2元1次方程式のグラフをかきことや2元1次方程式のグラフの交点の座標を利用して連立方程式の解を求める。 デジタルドリルを活用して学習内容の復習をする。 <p>関数、1次関数、変化の割合、切片、傾き</p> <p>4章「平行と合同」</p> <ul style="list-style-type: none"> ★平面図形の性質について、筋道を立てて考え、説明する。 対頂角や平行線と角の性質を利用して、角の大きさを求める。 基本的な図形の性質を予想し、そのことを論理的に考察する。 ★三角形の合同条件について興味を持ち、それらを用いて論理的な推論や証明をする。 デジタルドリルを活用して学習内容の復習をする。 <p>内角、外角、対頂角、同位角、錯角、証明合同、仮定、結論、三角形の合同条件</p> <p>5章「三角形と四角形」</p> <ul style="list-style-type: none"> 二等辺三角形や平行四辺形の色々な性質に関心を持ち、それらを演繹的に導く。 定理とその逆に関心を持ち、色々な場合についてその逆を考える。 ★直角三角形の合同条件を用いて、図形の性質を考察する。 ★二等辺三角形や平行四辺形の性質を用いて、図形の性質を考察する。 <p>頂角、底角、底辺、定義、定理、逆、斜辺、対辺、対角、\squareABCD、直角三角形の合同条件</p> | <p>4章「関数 $y=ax^2$」</p> <ul style="list-style-type: none"> 身のまわりの事象の中から放物線を描く事象を見いだす。 yがxの2乗に比例する関係を、表や式、グラフなどを用いて表し、その特徴を調べる。 $y=ax^2$のグラフをかいて、その特徴を調べる。 ★具体的な事象を、放物線と直線の考え方を活用して、解決する。 指数関数やグラフが階段状になる関数について考察する。 デジタルドリルを活用して学習内容の復習をする。 <p>放物線、変化の割合</p> <p>5章「相似な図形」</p> <ul style="list-style-type: none"> 2つの三角形が相似になる条件を調べる。 三角形の相似を利用して、距離や高さなどいろいろな線分の長さを求める。 ★三角形と比、平行線と比の性質を利用して、いろいろな図形の性質を考察する。 ★相似な図形の面積比と体積比の関係を調べる。 デジタルドリルを活用して学習内容の復習をする。 <p>相似、相似の中心、相似の位置にある、比の値、三角形の相似条件、三角形と比の定理、中点連結定理、平行線と比の定理</p> <p>6章「円」</p> <ul style="list-style-type: none"> 円周角の定理が成り立つことを証明し、円の色々な角の大きさを求める。 円周角と弧の定理から図形の性質を考察する。 円周角の定理の逆を用いて図形の性質を考察する。 デジタルドリルを活用して学習内容の復習をする。 <p>円周角</p> |
| | 三 学 期 | <p>6章「空間図形」</p> <ul style="list-style-type: none"> ★身の回りにある立体について観察、操作や実験を通して、調べる。 立体を、性質により分類する。 空間図形を、見取図や展開図、投影図を用いて平面上に表し、その性質を調べる。 ★柱体や錐体、球の表面積や体積について、観察や操作、実験を通して求める。 デジタルドリルを活用して学習内容の復習をする。 <p>多面体、正多面体、角柱、円柱、角錐、円錐、ねじれの位置にある、母線、回転体、表面積、側面積、底面積、投影図</p> <p>7章「データの分析と活用」</p> <ul style="list-style-type: none"> データを度数分布表やヒストグラムに表したり、また、相対度数を求め、データの傾向を読み取る。 データの範囲や代表値を求め、それらからデータの傾向を読み取る。 デジタルドリルを活用して学習内容の復習をする。 <p>階級、階級の幅、度数、度数分布表、ヒストグラム、度数折れ線、相対度数、範囲、代表値、平均値、メジアン、中央値、モード、最頻値、誤差、累積度数、累積相対度数</p> <p>ことからの起こりやすさ</p> <ul style="list-style-type: none"> 不確定なことがらの起こりやすさを、割合をもとにして考え、説明する。 <p>確率</p> | <p>5章「三角形と四角形」</p> <p>(前述)</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタルドリルを活用して学習内容の復習をする。 <p>6章「確率」</p> <ul style="list-style-type: none"> ★具体的な事象について、起こりうる場合について関心を持ち、それを順序よく整理して調べる。 起こりうる場合を、順序よく整理して考察する。 ★ある事象の起こる程度を数で表し、それを利用して考察する。 デジタルドリルを活用して学習内容の復習をする。 <p>同様に確からしい、樹形図</p> <p>7章「データの比較」</p> <ul style="list-style-type: none"> 四分位数や四分位範囲の意味を理解し、それらを求めて、箱ひげ図に表す。 四分位範囲や箱ひげ図の必要性を理解する。 ★箱ひげ図を用いて、複数のデータの分布の傾向を比較的に考察する。 デジタルドリルを活用して学習内容の復習をする。 <p>四分位数、第1四分位数、第2四分位数、第3四分位数、四分位範囲、箱ひげ図</p> |

| 観点別学習状況の評価 | | 学習の実現状況 | 各評定の範囲 | | 評定 | |
|------------|-----------|-------------|-------------|---|-----------|--|
| A | 十分満足できる | 80%以上 | 90%以上 | 5 | 特に高い程度のもの | |
| B | おおむね満足できる | 50%以上 80%未満 | 80%以上 90%未満 | 4 | 十分満足できる | |
| C | 努力を要する | 50%未満 | 50%以上 80%未満 | 3 | おおむね満足できる | |
| | | | 20%以上 50%未満 | 2 | 努力を要する | |
| | | | 20%未満 | 1 | 一層努力を要する | |

理科

目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して自然の事物・現象を科学的に探求するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

内容

- (1) 自然の事物・現象を主として量的・関係的な視点でとらえる。
- (2) 自然の事物・現象を主として質的・実体的な視点でとらえる。
- (3) 生命に関する事物・現象を主として共通性・多様性の視点でとらえる。
- (4) 地球や宇宙に関する自然の事物・現象を主として時間的・空間的な視点でとらえる。

評価の観点と方法

- 観点①… 自然の事象・現象について理解を深め、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけるようにする。
- 観点②… 観察、実験などを行い、科学的に探求する力を養う。
- 観点③… 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探求しようとする態度を養う。

評価の目安

| 評価方法 | 観点① | 観点② | 観点③ |
|---|-----|-----|-----|
| 授業の様子 授業の受け方、観察・実験の取り組み方、発言・発表、ノートの取り方など | ○ | ○ | ○ |
| 小テスト | ○ | ○ | ○ |
| 実技テスト | ○ | | |
| 定期考査 | ○ | ○ | ○ |
| 提出物(ノート、ワーク、レポート、課題プリント) | ○ | ○ | ○ |
| デジタルドリルへの取り組み | ○ | ○ | ○ |

評価・評定のライン

| 観点別学習状況の評価 | 学習の実現状況 |
|-------------|-------------|
| A 十分満足できる | 80%以上 |
| B おおむね満足できる | 50%以上 80%未満 |
| C 努力を要する | 50%未満 |

| 各評定の範囲 | 評定 | |
|-------------|----|-----------|
| 90%以上 | 5 | 特に高い程度のもの |
| 80%以上 90%未満 | 4 | 十分満足できる |
| 50%以上 80%未満 | 3 | おおむね満足できる |
| 20%以上 50%未満 | 2 | 努力を要する |
| 20%未満 | 1 | 一層努力を要する |

各学年の内容

| | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
|--------|---|---|--|
| 学 期 | 理科室のきまり 【生物】 単元1 いろいろな生物とその共通点 1章 生物の観察と分類のしかた ・生物の観察 ・生物の特徴と分類 2章 植物の分類 ・花のつくり ・果実をつくらない花 ・葉や根のつくり ・種子をつくらない植物 ・さまざまな植物の分類 3章 動物の分類 ・身近な動物の分類 ・脊椎動物 ・無脊椎動物 ・動物の分類表の作成 単元末 学習内容の整理 | 【化学】 単元1 化学変化と原子・分子 1章 物質のなり立ち ・ホットケーキの秘密 ・水の分解 ・物質をつくっているもの ・分子と化学式 ・単体と化合物・物質の分類 2章 物質どうしの化学変化 ・異なる物質の結びつき ・化学変化を化学式で表す 3章 酸素がかわる化学変化 ・物質が燃える変化 ・酸化物から酸素をとる化学変化 【生物】 単元2 生物の体のつくりとはたらき 1章 生物と細胞 ・植物の細胞 ・動物の細胞 ・生物のからだと細胞 2章 植物のからだのつくりとはたらき ・葉と光合成 ・光合成に必要なもの ・植物と呼吸 ・植物と水 ・水の通り道 3章 動物のからだのつくりとはたらき ・消化のしくみ | 【化学】 単元1 化学変化とイオン 1章 水溶液とイオン ・水溶液と電流 ・塩化銅水溶液の中で起こる変化 ・イオンと原子のなり立ち 2章 酸、アルカリとイオン ・酸性やアルカリ性の水溶液の性質 ・酸性、アルカリ性の正体 ・酸とアルカリを混ぜ合わせたときの変化 3章 化学変化と電池 ・電解質の水溶液の中の金属板と電流 ・金属のイオンへのなりやすさのちがいがい 【生物】 単元2 生命の連続性 1章 生物の成長と生殖 ・生物の成長と細胞の変化 ・無性生殖 ・有性生殖 ・染色体の受けつがれ方 2章 遺伝の規則性と遺伝子 ・遺伝の規則性 ・遺伝子の本体と研究成果の活用 |
| | 【地学】 単元4 大地の変化 1章 火をふく大地 ・火山の姿からわかること ・火山の噴火によってふき出される物 ・火山の活動と火成岩 ・火山とともにくらす | | |

| | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
|-------------|---|--|---|
| 二 学 期 | <p>【化学】 単元2 身のまわりの物質 1章 身のまわりの物質とその性質 ・物の調べ方 ・金属と非金属 ・さまざまな金属の見分け方 ・白い粉末の見分け方</p> <p>2章 気体の性質 ・身のまわりの気体の性質 ・気体の性質と集め方</p> <p>3章 水溶液の性質 ・物質が水にとけるようす ・溶解度と再結晶</p> <p>4章 物質の姿と状態変化 ・物質の状態変化 ・物質の状態変化と体積・質量の変化 ・状態変化が起こるときの温度とその利用</p> <p>単元末 学習内容の整理</p> | <p>【化学】 単元1 化学変化と原子・分子 4章 化学変化と物質の質量 ・化学変化と質量の変化 ・化学変化する物質どうしの質量の関係</p> <p>単元末 学習内容の整理</p> <p>【物理】 単元4 電気の世界 1章 静電気と電流 ・静電気と放電 ・電流の正体 ・放射線の性質と利用</p> <p>2章 電流の性質 ・回路のつなぎ方 ・回路に流れる電流 ・回路に加わる電圧</p> | <p>【化学】 単元1 化学変化とイオン 3章 化学変化と電池 ・ダニエル電池 ・身のまわりの電池</p> <p>単元末 学習内容の整理</p> <p>【物理】 単元3 運動とエネルギー 1章 物体の運動 ・物体の運動の記録 ・物体の運動の速さの変化 ・だんだんと速くなる運動 ・だんだんとおそくなる運動</p> <p>2章 力のはたらき方 ・力の合成と分解 ・慣性の法則 ・作用・反作用の法則 ・水中ではたらく力</p> |
| | <p>【地学】 単元4 大地の変化 2章 動き続ける大地 ・地震のゆれの伝わり方 ・地震が起こるところ ・地震に備えるために</p> <p>3章 地層から読みとる大地の変化 ・地層のなり立 ・堆積岩 ・地層や化石からわかること ・大地の変動 ・身近な大地の歴史</p> <p>単元末 学習内容の整理</p> | <p>【生物】 単元2 生物のからだのつくりとはたらき 3章 動物の体からだのつくりとはたらき ・呼吸のしくみ ・呼吸のはたらき ・心臓のはたらきと血管の循環 ・排出のしくみ</p> <p>4章 刺激と反応 ・刺激の受け取り ・神経のはたらき ・骨と筋肉のはたらき</p> <p>単元末 学習内容の整理</p> <p>【地学】 単元3 天気とその変化 1章 気象の観測 ・圧力と大気圧 ・気圧と風 ・気象の観測</p> | <p>【生物】 単元2 生命の連続性 3章 生物の多様性と進化 ・生物の歴史 ・水中から陸上へ ・さまざまな進化の証拠 ・進化と多様性</p> <p>単元末 学習内容の整理</p> <p>【地学】 単元4 地球と宇宙 1章 地球の運動と天体の動き ・太陽の1日の動き ・地球の自転と方位、時刻 ・星の1日の動き ・天体の1年の動き ・地軸の傾きと季節の変化</p> <p>2章 月と金星の見え方 ・月の満ち欠け ・金星の見え方</p> |

| | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
|-------------|--|---|--|
| 三 学 期 | <p>【物理】 単元3 身のまわりの現象 1章 光の世界 ・物の見え方 ・光の反射 ・光の屈折 ・レンズのはたらき</p> <p>2章 音の世界 ・音の伝わり方 ・音の大きさや高さ</p> | <p>【物理】 単元4 電気の世界 2章 電流の性質 ・電圧と電流の関係 ・電気エネルギー</p> <p>3章 電流と磁界 ・電流がつくる磁界 ・電流が磁界から受ける力 ・発電のしくみ ・直流と交流</p> <p>単元末 学習内容の整理</p> | <p>3章 エネルギーと仕事 ・さまざまなエネルギー ・力学的エネルギー ・仕事と力学的エネルギー ・仕事の原理と仕事率 ・エネルギーの変化と保存</p> <p>単元末 学習内容の整理</p> <p>【地学】 単元4 地球と宇宙 2章 月と金星の見え方 ・日食と月食</p> |
| | <p>3章 力の世界 ・日常生活のなかの力 ・力のはかり方 ・力の表し方 ・力のつり合い</p> <p>単元末 学習内容の整理</p> | <p>【地学】 単元3 天気とその変化 1章 気象の観測 ・水蒸気の変化と湿度</p> <p>2章 雲のでき方と前線 ・雲のでき方 ・気団と前線</p> <p>3章 大気の動きと日本の天気 ・大気の動きと天気の変化 ・日本の天気と季節風 ・日本の天気の特徴 ・天気の変化の予測 ・気象現象がもたらすめぐみと災害</p> <p>単元末 学習内容の整理</p> | <p>3章 宇宙の広がり ・太陽系の天体 ・宇宙の広がり</p> <p>単元末 学習内容の整理</p> <p>【環境・科学技術】 単元5 地球と私たちの未来のために 1章 自然のなかの生物 ・生態系 ・生態系における生物のはたらき ・生態系と炭素の循環</p> <p>2章 自然環境の調査と保全 ・身近な自然環境の調査 ・人間による活動と自然環境 ・自然環境の開発と保全 ・自然災害と地域のかかわりを学ぶ</p> <p>3章 科学技術と人間 ・さまざまな物質とその利用 ・カーボンニュートラルの実現に向けた取り組み ・科学技術の発展</p> <p>終章 持続可能な社会のために ・人間の活動と地球環境 ・持続可能な社会と科学技術</p> <p>単元末 学習内容の整理</p> |

なお、各単元ごとにデジタルドリルを活用し、習熟度を測るとともに振り返りを行う。

音楽科

■■■ 目標 ■■■

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

■■■ 各学年の目標 ■■■

【第1学年】

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

【第2学年及び第3学年】

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

■■■ 評価の観点と方法 ■■■

- 観点①… 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表現している。
- 観点②… 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- 観点③… 音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に粘り強く取り組もうとしている。

| 評価方法 | 観点① | 観点② | 観点③ |
|--------------------|-----|-----|-----|
| 授業への取り組み状況 | ○ | ○ | ○ |
| ワークや学習プリントの提出状況や内容 | ○ | ○ | ○ |
| 実技テスト | ○ | ○ | ○ |
| 定期考査 | ○ | ○ | |

教科書：教育芸術社

評価・評定のライン

| 観点別学習状況の評価 | 学習の実現状況 |
|-------------|-------------|
| A 十分満足できる | 80%以上 |
| B おおむね満足できる | 50%以上 80%未満 |
| C 努力を要する | 50%未満 |

| 各評定の範囲 | 評定 | |
|-------------|----|-----------|
| 90%以上 | 5 | 特に高い程度のもの |
| 80%以上 90%未満 | 4 | 十分満足できる |
| 50%以上 80%未満 | 3 | おおむね満足できる |
| 20%以上 50%未満 | 2 | 努力を要する |
| 20%未満 | 1 | 一層努力を要する |

| | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
|-------------|---|---|---|
| 一 学 期 | <p>オリエンテーション</p> <p><歌唱></p> <p>「落合中学校校歌」 「We' ll Find The Way」 「その先へ」 「My Voice!」</p> <p>・発声の基本 ・曲想と音楽構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を工夫して歌う。</p> <p><鑑賞></p> <p>「春」</p> <p>・曲想と音楽の構造との関わりについて理解すると共に曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考えて聴く。</p> <p><創作></p> <p>「リズムゲーム」「リズムアンサンブル」「リズムチャレンジ」 ・音素材の特徴及び音の重なり方や反復・変化・対照などの構成上の特徴について理解するとともに、それらを生かした創作表現を創意工夫して音楽を作る。</p> <p>【音楽の基礎知識】 通年</p> <p>・楽譜の名称 ・楽譜に使われる記号、用語の理解 ・音符の読み方(ト音譜表・ヘ音譜表) ・音楽史</p> | <p>オリエンテーション</p> <p><歌唱></p> <p>「落合中学校校歌」 「翼をください」 「My Voice!」</p> <p>・発声の基本 ・曲想と音楽構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を工夫して歌う。</p> <p><鑑賞></p> <p>「フーガ ト短調」 「音楽鑑賞教室演奏曲①」</p> <p>・曲想と音楽の構造との関わりについて理解すると共に曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考えて聴く。 ・オーケストラで使われる楽器について学ぶ。</p> <p>【音楽の基礎知識】 通年</p> <p>・楽譜の名称 ・楽譜に使われる記号、用語の理解 ・音符の読み方(ト音譜表・ヘ音譜表) ・音楽史</p> | <p>オリエンテーション</p> <p><歌唱></p> <p>「落合中学校校歌」 「花」 「サンタルチア」</p> <p>・発声の基本 ・曲想と音楽構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を工夫して歌う。</p> <p><鑑賞></p> <p>「ポレロ」 「オーケストラの楽器」</p> <p>・曲想と音楽の構造との関わりについて理解すると共に曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考えて聴く。 ・オーケストラで使われる楽器について復習をする。</p> <p>【音楽の基礎知識】 通年</p> <p>・楽譜の名称 ・楽譜に使われる記号、用語の理解 ・音符の読み方(ト音譜表・ヘ音譜表) ・音楽史</p> |

| | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
|-------------|---|--|--|
| 二 学 期 | <p><歌唱></p> <p>「落中発表会に向けて」 合唱曲の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発声の基本 ・曲想と音楽構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を工夫して歌う。 <p><鑑賞></p> <p>「魔王」 雅楽「越天楽」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解すると共に曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考えて聴く。 ・我が国や郷土の伝統音楽及びアジアの諸民族の音楽の特徴や多様性について理解するとともに生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、聴く。 <p>【音楽の基礎知識】 通年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽譜の名称 ・楽譜に使われる記号、用語の理解 ・音符の読み方(ト音譜表・ヘ音譜表) ・音楽史 | <p><歌唱></p> <p>「落中発表会に向けて」 合唱曲の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発声の基本 ・曲想と音楽構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を工夫して歌う。 <p><鑑賞></p> <p>「アイーダ」から 歌舞伎「勧進帳」 「音楽鑑賞教室演奏曲②」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解するとともに曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 <p><創作></p> <p>「My Melody」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴について理解するとともに、それらを生かしたまとまりのある創作表現を創意工夫して音楽をつくる。 <p>【音楽の基礎知識】 通年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽譜の名称 ・楽譜に使われる記号、用語の理解 ・音符の読み方(ト音譜表・ヘ音譜表) ・音楽史 | <p><歌唱></p> <p>「落中発表会に向けて」 合唱曲の取り組み 「荒城の月」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発声の基本 ・曲想と音楽構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を工夫して歌う。 <p><鑑賞></p> <p>能「敦盛」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞に関わる知識(曲想と主題の反復や独奏楽器とオーケストラによる音楽の構造との関わり)を得たり、生かしたりしながら、曲やその演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 <p>【音楽の基礎知識】 通年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽譜の名称 ・楽譜に使われる記号、用語の理解 ・音符の読み方(ト音譜表・ヘ音譜表) ・音楽史 |
| | 三 学 期 | <p><器楽></p> <p>箏の演奏 「基礎的な奏法」「さくらさくら」など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・箏の音色や響きとその奏法との関わりについて理解するとともに、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏する。 <p><鑑賞></p> <p>「六段の調」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 <p><歌唱></p> <p>「卒業式式歌」 「浜辺の歌」または「赤とんぼ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発声の基本 ・曲想と音楽構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を工夫して歌う。 ・卒業を祝う気持ちをもたせる。 <p>【音楽の基礎知識】 通年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽譜の名称 ・楽譜に使われる記号、用語の理解 ・音符の読み方(ト音譜表・ヘ音譜表) ・音楽史 | <p><器楽></p> <p>三味線の演奏 「基礎的な奏法」 「数え唄」など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三味線の音色や響きとその奏法との関わりについて理解するとともに、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏する。 <p><鑑賞></p> <p>「世界の諸民族の音楽」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸外国の様々な音楽の特徴とその特徴から生まれる音楽の多様性を理解するとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 <p><歌唱></p> <p>「荒城の月」</p> <p>「卒業式式歌」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発声の基本 ・曲想と音楽構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を工夫して歌う。 ・卒業を祝う気持ちをもたせる。 <p>【音楽の基礎知識】 通年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽譜の名称 ・楽譜に使われる記号、用語の理解 ・音符の読み方(ト音譜表・ヘ音譜表) ・音楽史 |

| | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
|-------------|--|--|---|
| 二 学 期 | <p><器楽></p> <p>箏の演奏 「基礎的な奏法」「さくらさくら」など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・箏の音色や響きとその奏法との関わりについて理解するとともに、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏する。 <p><鑑賞></p> <p>「六段の調」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 <p><歌唱></p> <p>「卒業式式歌」 「浜辺の歌」または「赤とんぼ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発声の基本 ・曲想と音楽構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を工夫して歌う。 ・卒業を祝う気持ちをもたせる。 <p>【音楽の基礎知識】 通年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽譜の名称 ・楽譜に使われる記号、用語の理解 ・音符の読み方(ト音譜表・ヘ音譜表) ・音楽史 | <p><器楽></p> <p>三味線の演奏 「基礎的な奏法」 「数え唄」など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三味線の音色や響きとその奏法との関わりについて理解するとともに、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏する。 <p><鑑賞></p> <p>「世界の諸民族の音楽」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸外国の様々な音楽の特徴とその特徴から生まれる音楽の多様性を理解するとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 <p><歌唱></p> <p>「荒城の月」</p> <p>「卒業式式歌」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発声の基本 ・曲想と音楽構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を工夫して歌う。 ・卒業を祝う気持ちをもたせる。 <p>【音楽の基礎知識】 通年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽譜の名称 ・楽譜に使われる記号、用語の理解 ・音符の読み方(ト音譜表・ヘ音譜表) ・音楽史 | <p><器楽></p> <p>三味線の演奏 「発展的な奏法」 「江戸情緒」など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三味線の音色や響きとその奏法との関わりについて理解する。 ・創意工夫を生かした表現で演奏するために必要なばちの持ち方や勘所の押さえ方などの三味線の基本的な奏法を身に付ける。 <p><鑑賞></p> <p>ポピュラー音楽</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 <p><歌唱></p> <p>「卒業式合唱候補曲」</p> <p>「卒業式式歌」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発声の基本 ・曲想と音楽構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を工夫して歌う。 ・卒業の喜びと感謝の気持ちをもたせる。 <p>【音楽の基礎知識】 通年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽譜の名称 ・楽譜に使われる記号、用語の理解 ・音符の読み方(ト音譜表・ヘ音譜表) ・音楽史 |
| | 三 学 期 | <p><器楽></p> <p>箏の演奏 「基礎的な奏法」「さくらさくら」など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・箏の音色や響きとその奏法との関わりについて理解するとともに、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏する。 <p><鑑賞></p> <p>「六段の調」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 <p><歌唱></p> <p>「卒業式式歌」 「浜辺の歌」または「赤とんぼ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発声の基本 ・曲想と音楽構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を工夫して歌う。 ・卒業を祝う気持ちをもたせる。 <p>【音楽の基礎知識】 通年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽譜の名称 ・楽譜に使われる記号、用語の理解 ・音符の読み方(ト音譜表・ヘ音譜表) ・音楽史 | <p><器楽></p> <p>三味線の演奏 「基礎的な奏法」 「数え唄」など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三味線の音色や響きとその奏法との関わりについて理解するとともに、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏する。 <p><鑑賞></p> <p>「世界の諸民族の音楽」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸外国の様々な音楽の特徴とその特徴から生まれる音楽の多様性を理解するとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 <p><歌唱></p> <p>「荒城の月」</p> <p>「卒業式式歌」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発声の基本 ・曲想と音楽構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を工夫して歌う。 ・卒業を祝う気持ちをもたせる。 <p>【音楽の基礎知識】 通年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽譜の名称 ・楽譜に使われる記号、用語の理解 ・音符の読み方(ト音譜表・ヘ音譜表) ・音楽史 |

美術科

目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成する。

各学年の目標

【第1学年】

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。また、美術や美術文化に対する幅広い知識をもてるようにする。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- (3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

【第2学年及び第3学年】

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。また、美術や美術文化に対する幅広い知識をもてるようにする。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

評価の観点と方法

| | |
|------|--|
| 観点①… | 「知識・技能」。対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、道具や材料を適切に用いて創造的に表すことができる。美術史等の学習をとおして美術や美術文化に対する幅広い知識を習得している。 |
| 観点②… | 「思考力、判断力、表現力等」。造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。 |
| 観点③… | 「学びに向かう力、人間性等」。美術への興味・関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の学習に取り組むことができる。毎回の授業に集中し、継続して課題に粘り強く取り組むことができる。 |

| 評価方法 | 観点① | 観点② | 観点③ |
|---|-----|-----|-----|
| 授業に取り組む姿勢(話をきちんと聞いている、作業に集中している、資料を活用している、提出期限を守る など) | | | ○ |
| 定期考査への取り組み | ○ | | ○ |
| アイデアシート・アイデアスケッチ・レポート等の内容 | ○ | ○ | ○ |
| 作品の内容(豊かな発想と適切な知識・技能) | ○ | ○ | ○ |
| 作品の進捗(見直しをもって作業しているか) | | | ○ |

各学年の内容

| | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
|-----|--|---|---|
| 一学期 | <p>オリエンテーション</p> <p>デッサン 基礎形態の鉛筆デッサン。 デッサンの基本的な描き方を理解する。 デッサンの表現活動を通して、形状の捉え方および明暗や質感を表現する鉛筆表現の技能を身に付ける。</p> <p>色彩理論・彩色演習 色の大別や三要素など色の性質や色から受ける感情、色の機能等を学び、混色の効果や配色の工夫について学ぶ。 平塗りをはじめ明暗や色相の塗り分け等の演習を通して、ポスターカラー絵具の基本的な使い方を身に付け、平面造形の基礎的能力を身につける。</p> <p>鑑賞 色彩の特徴を理解し、作品や生活の中でどう活用されているか考えを深める。</p> | <p>オリエンテーション</p> <p>ポスターの制作(1) ポスターの下描きから彩色へ。 広く人々に印象深くメッセージを伝えるポスターの制作を行う。 アイデアスケッチをもとにして、制作の見通しを立て、イラスト・キャッチコピー・レイアウト・配色等の工夫を行いながら、用具を適切に用いて制作する。</p> <p>鑑賞 美術作品と作者、時代背景や技法等について理解を深め、そのよさや美しさを味わい、感じ方や考え方を深める。</p> | <p>オリエンテーション</p> <p>オブジェの制作(1) オブジェの切り出し・削り出し。 自然や街の中に置かれた美術作品が環境に与える変化に興味をもち、場にふさわしいオブジェを発想・構想し、立体作品として表現する。 材料、技法、立体造形の諸要素に配慮した形状を構想し制作手順の見通しを立てる。 素材や用具の特性を知り、意図に応じて創意工夫しながら用具を適切に用いて形を削り出し、丁寧に仕上げる。</p> <p>鑑賞 美術作品と作者、時代背景や技法等について理解を深め、そのよさや美しさを味わい、感じ方や考え方を深める。</p> |

| | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
|-------------|---|--|--|
| 二 学 期 | 文字のデザイン ・絵文字を描く。 文字の形や意味を生かして、イラストと文字の融合を行い、楽しく美しい絵文字を表現する。 | ポスターの制作(2) ・ポスターの彩色。 配色等のさらなる工夫・改善を行いながら、用具を適切に用いて丁寧に仕上げる。 | オブジェの制作(2) ・オブジェの研磨と彩色。 材料の特性を理解し、適切に用具を使用しながら表面を美しく加工し形を完成させる。 彩色を丁寧に施しニスを塗布しオブジェを完成させる。 |
| | 鑑賞 美術作品と作者、時代背景や技法等について理解を深め、そのよさや美しさを味わい、感じ方や考え方を深める。 | 和菓子をつくる ・和菓子(本体)のデザイン。 日本の気候風土や伝統文化をもとに美しく楽しい和菓子のコンセプトと形態の構想を練る。 用具や材料の特性を理解し適切に用いながら美しい和菓子の食品模型を制作する。 | 絵皿のデザイン ・スクラッチ絵皿の制作。 身近な生活用品としての皿のデザインに興味・関心を持ち、モノクロの配色と円形を生かした構成を考え、技法を理解したうえで用具を適切に用いて表現する。 |
| | 平面構成 ・抽象形による平面構成。 色彩理論や構成美の要素を生かしながら、感情や感覚を抽象形を用いて表現する。自分の意図や思いに応じた構成と配色を行う。 | 鑑賞 美術作品と作者、時代背景や技法等について理解を深め、そのよさや美しさを味わい、感じ方や考え方を深める。 | 鑑賞 美術作品と作者、時代背景や技法等について理解を深め、そのよさや美しさを味わい、感じ方や考え方を深める。 |

| | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
|-------------|---|--|--|
| 三 学 期 | 手の彫刻 ・手をつくる(塑造)。 手の塑像制作を通して立体に表すことの楽しさを味わう。観察力を身に付けるとともに、動勢、均衡、量感等の立体的な造形要素を身に付ける。 | ディスプレイをつくる ・和菓子のディスプレイ制作。 日本の気候風土や伝統文化をもとに、制作した和菓子を美しく魅力的に見せるためのディスプレイの構想を練る。 用具や材料の特性を理解し、適切に用いながらディスプレイを制作し、和菓子を効果的に配置して完成させる。 | 空想画の制作 ・言葉から発想する空想画。 シュールレアリスム等の手法を用いて、特定の言葉から喚起されるイメージを図像的に効果的に表すモチーフの選択、組み合わせ、構図、配色等について構想を練る。 用具を適切に用いて質感や空間表現を行い、心象風景として絵画に表現する。 |
| | 鑑賞 美術作品と作者、時代背景や技法等について理解を深め、そのよさや美しさを味わい、感じ方や考え方を深める。 | 鑑賞 美術作品と作者、時代背景や技法等について理解を深め、そのよさや美しさを味わい、感じ方や考え方を深める。 | 鑑賞 美術作品と作者、時代背景や技法等について理解を深め、そのよさや美しさを味わい、感じ方や考え方を深める。 |
| | 遠近法 ・ロゴを透視図法で表す。 自分のロゴを、透視図法を用いて立体感や奥行きが感じられるようにデザインする。 | | |

| 評価・評定のライン | | | |
|------------|-----------|-------------|--|
| 観点別学習状況の評価 | | 学習の実現状況 | |
| A | 十分満足できる | 80%以上 | |
| B | おおむね満足できる | 50%以上 80%未満 | |
| C | 努力を要する | 50%未満 | |

| 各評定の範囲 | | 評定 | |
|-------------|---|-----------|--|
| 90%以上 | 5 | 特に高い程度のもの | |
| 80%以上 90%未満 | 4 | 十分満足できる | |
| 50%以上 80%未満 | 3 | おおむね満足できる | |
| 20%以上 50%未満 | 2 | 努力を要する | |
| 20%未満 | 1 | 一層努力を要する | |

■■■ 目標 ■■■

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身につけるようにする。
- (2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

■■■ 各分野の目標 ■■■

【体育分野】

- (1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身につけようとする。
- (2) 運動についての自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にすることなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。

【保健分野】

- (1) 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身につけるようにする。
- (2) 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活をいたむ態度を養う。

■■■ 評価の観点と方法 ■■■

観点①… 運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身につけている。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身につけている。

観点②… 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、これらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断している。

観点③… 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に積極的・自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。

| 評価方法 | 観点① | 観点② | 観点③ |
|-----------------|-----|-----|-----|
| 授業の様子 | | ○ | ○ |
| 実技テストの結果 | ○ | ○ | |
| 学習カードの内容や提出 | | ○ | ○ |
| 定期考査の結果 | ○ | ○ | |
| レポートの完成度と内容 | | ○ | ○ |
| 学習ノート・ワークの内容と提出 | | ○ | ○ |

| | 第1学年 (男女共通) | 第2学年 (男女共通) | 第3学年 (男女共通) |
|-------------|--|---|---|
| 一 学 期 | <ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体力を高めることができる。 ・集団行動 ・新体力テスト ・陸上競技 基本的な動きを身に付け、目標記録に挑戦したり、相手と競争したりして楽しむことができる。 ・水泳 自分の泳力を確かめ、水泳の特性や成り立ち、技術の名称や正しい方を理解し、泳法を身につけることができる。 ・健康な生活と病気の予防 健康の成り立ちと病気の発生要因について理解できる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体力を高めることができる。 ・集団行動 ・新体力テスト ・陸上競技 各種目特有の技能を高めながら、目標記録に挑戦したり、相手にアドバイスをしたりして楽しむことができる。 ・水泳 記録の向上や競争の楽しさ喜びを味わうことができる。また、新たな泳法に挑戦し身につけることができる。 ・傷害の防止 交通事故や自然災害、犯罪被害などによる傷害の防止、応急手当の仕方について理解できる | <ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動 自分の目的にあった体力を高める運動を組み合わせる行うことができる。 ・集団行動 ・新体力テスト ・陸上競技 各種目特有の技能を高めながら、目標記録に挑戦したり、相手にアドバイスをしたりして楽しみ、運動観察の方法や体力の高め方を理解できる。 ・水泳 新たな泳法を身につけながら、練習を工夫し効率のよい泳ぎを高めることができる。 ・健康と環境 個人や社会の健康のために飲料水や空気の管理をする、自然を汚染しないことが必要であることを理解できる |

| | 第 1 学年 (男女共通) | 第 2 学年 (男女共通) | 第 3 学年 (男女共通) |
|-------------|--|--|--|
| 二 学 期 | <p>・体づくり運動 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体力を高めることができる。</p> <p>・水泳 自分の泳力を確かめ、水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方を理解し、泳法を身に付けることができる。</p> <p>・器械運動 技の分類と発展の仕方を知り、基本となる技が滑らかにできる、技を組み合わせる演技ができる。</p> <p>・陸上競技 基本的な動きを身に付け、目標記録に挑戦したり、相手と競争したりして楽しむことができる。</p> <p>・球技 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、ルールを学びながら基本的な技能を高めることができる。</p> <p>・体育理論 運動やスポーツへの多様な関わり方について理解できる。</p> <p>・心身の機能の発達と心の健康 心身の機能の発達や、心の健康を保持増進する方法を理解できる。</p> | <p>・体づくり運動 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体力を高めることができる。</p> <p>・水泳 記録の向上や競争の楽しさ喜びを味わうことができる。また、新たな泳法に挑戦し身に付けることができる。</p> <p>・器械運動 練習を工夫し、できる技をより滑らかにしたり、条件を変えたり、発展技に挑戦したりすることができる。</p> <p>・陸上競技 種目特有の技能を高めながら、目標記録に挑戦したり、相手にアドバイスをしたりして楽しむことができる。</p> <p>・球技 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技能を高めながら、仲間と連携した動きでゲームの攻防を展開して楽しむことができる。</p> <p>・体育理論 運動やスポーツの学び方について理解できる。</p> <p>・傷害の防止 交通事故や自然災害、犯罪被害などによる傷害の防止、応急手当の仕方について理解できる。</p> <p>・健康な生活と病気の予防 健康の成り立ちと病気の発生要因や生活習慣病の予防、飲酒、喫煙、薬物乱用防止について理解できる。</p> | <p>・体づくり運動 自分の目的にあった体力を高める運動を組み合わせる行うことができる。</p> <p>・水泳 新たな泳法を身につけながら、目標を決めたり、練習を工夫して効率のよい泳ぎを高めたりすることができる。</p> <p>・陸上競技 各種目特有の技能を高めながら、目標記録に挑戦したり、相手にアドバイスをしたりして楽しみ、運動観察の方法や体力の高め方を理解できる。</p> <p>・球技 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じたボール操作で仲間と連携してゲームを展開して楽しむことができる。</p> <p>・健康と環境 個人や社会の健康のために飲料水や空気の管理をする、自然を汚染しないことが必要であることを理解できる。</p> <p>・体育理論 人々を結び付けるスポーツの文化的な働きについて理解できる。</p> <p>・健康な生活と病気の予防 感染症の予防、健康を守る社会の取り組みについて理解できる。</p> |

| | 第 1 学年 (男女共通) | 第 2 学年 (男女共通) | 第 3 学年 (男女共通) |
|-------------|---|--|--|
| 三 学 期 | <p>・体づくり運動 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体力を高めることができる。</p> <p>・球技 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、ルールを学びながら基本的な技能を高め、簡単なゲームを楽しむことができる。</p> <p>・武道 礼法や安全に対する心得を理解し、基本動作を正しく身に付けることができる。</p> <p>・ダンス いろいろなイメージや踊りの特徴、リズムをとらえて踊って楽しむことができる。</p> <p>・心身の機能の発達と心の健康 心身の機能の発達や、心の健康を保持増進する方法を理解できる。</p> | <p>・体づくり運動 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体力を高めることができる。</p> <p>・球技 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能を高め、高まった力を生かしてゲームの攻防を展開して楽しむことができる。</p> <p>・武道 礼法や安全に対する心得を理解し、基本動作や基本となる技を身に付けながら、投げたり抑えたりするなどの攻防を展開して楽しむことができる。</p> <p>・ダンス 感情を込めて踊ったりみんなと自由に踊ったりする楽しさを味わい、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をして楽しむことができる。</p> <p>・健康な生活と病気の予防 健康の成り立ちと病気の発生要因や生活習慣病の予防、飲酒、喫煙、薬物乱用防止について理解できる。</p> | <p>・体づくり運動 自己に適した、体力を高める運動を組み合わせる行うことができる。</p> <p>・球技 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じたボール操作で仲間と連携してゲームを展開して楽しむことができる。</p> <p>・体育理論 人々を結び付けるスポーツの文化的な働きについて理解できる。</p> |

| 評価・評定のライン | | | 各評定の範囲 | | 評定 | |
|-----------|------------|-------------|-------------|---|-----------|--|
| | 観点別学習状況の評価 | 学習の実現状況 | | | | |
| A | 十分満足できる | 80%以上 | 90%以上 | 5 | 特に高い程度のもの | |
| B | おおむね満足できる | 50%以上 80%未満 | 80%以上 90%未満 | 4 | 十分満足できる | |
| C | 努力を要する | 50%未満 | 50%以上 80%未満 | 3 | おおむね満足できる | |
| | | | 20%以上 50%未満 | 2 | 努力を要する | |
| | | | 20%未満 | 1 | 一層努力を要する | |

技術・家庭科

■■■ 目標 ■■■

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

■■■ 各分野の目標 ■■■

【技術分野】

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

【家庭分野】

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

■■■ 評価の観点と方法 ■■■

観点①… 生活や社会で利用されている技術・家庭についての基礎的な知識や技能を身に付けている。

観点②… 生活や社会の中から問題を見出して、課題設定し創造・工夫し、課題を解決している。技術を適切に評価・活用している。

観点③… よりよい社会の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

【技術分野】

| 評価方法 | 観点① | 観点② | 観点③ |
|--------------|-----|-----|-----|
| 授業への取り組み | ○ | ○ | ○ |
| ファイルのプリントの内容 | | | ○ |
| ワークシートの記述内容 | ○ | ○ | ○ |
| レポートの完成度と内容 | ○ | ○ | |
| 作品の製作過程と完成度 | ○ | ○ | |
| 技能テストの結果 | ○ | | |
| 定期考査の結果 | ○ | ○ | ○ |

【家庭分野】

| 評価方法 | 観点① | 観点② | 観点③ |
|-----------------|-----|-----|-----|
| 授業の取り組み | ○ | ○ | ○ |
| ワークシート・ノート 記述内容 | ○ | ○ | ○ |
| レポートの内容 | | ○ | ○ |
| 作品の製作過程 | ○ | ○ | ○ |
| 提出物の内容 | | ○ | ○ |
| 定期考査の結果 | ○ | ○ | ○ |

■■■ 各学年の内容(技術分野) ■■■

| | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
|-------------|---|--|---|
| 一 学 期 | 「技術分野のガイダンス」 ・技術とは ・製品の工夫 「材料と加工の技術」 ・丈夫な構造 ○身近な材料 ・材料の基本的な特徴 | 「エネルギー変換の技術」 ○生活に役立つ LED 電気スタンドの製作 ・電気エネルギーを利用する仕組み ・回路製作 ・はんだづけ ・電子部品の役割 | 「情報の技術」 ○ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミング ・情報通信ネットワークの構成 ・情報を利用するための基本的な仕組み ・安全・適切なプログラムの制作 ・制作過程や結果の評価、改善と修正 |
| | ○生活に役立つ木工作品をつくろう ・製作品の構想 ・製作図の作成 ・木材へのけがき ・木材の切断 | | |

| | 第 1 学 年 | 第 2 学 年 | 第 3 学 年 |
|-------------|---|--|--|
| 二 学 期 | <p>○生活に役立つ木製品をつくらう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部品加工 ・検査と修正 ・組み立て ・接合 ・塗装 ・完成した作品の評価 | <p>「生物育成の技術」</p> <p>○作物の栽培</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物を育てる技術 ・栽培に適した土 ・種まき間引き ・かん水、肥料の与え方 ・病気と害虫 ・収穫 <p>○生物育成に関する技術の評価と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境、経済、社会的側面からの評価 ・生物育成に関する技術の活用 ・持続可能な社会 <p>「情報の技術」</p> <p>○情報を安全に利用しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報技術の特性 ・情報モラル ・知的財産権 | <p>○プログラムによる計測・制御</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計測・制御システム ・プログラムとプログラム言語 ・順次処理 ・反復処理 ・分岐処理 <p>○情報に関する技術×材料と加工技術</p> <p>デジタルおもちゃの製作</p> <p>「生物育成の技術」</p> <p>生物育成の役割と工夫</p> |

| | 第 1 学 年 | 第 2 学 年 | 第 3 学 年 |
|-------------|--|---|--|
| 三 学 期 | <p>○材料と加工に関する技術の評価と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境、経済、社会的側面からの評価 ・材料と加工に関する技術の活用 ・持続可能な社会 <p>「情報の技術」</p> <p>○情報を安全に利用しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報技術の特性 ・情報モラル ・知的財産権 | <p>○機械の運動、回転運動、往復運動の仕組みを調べよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回転運動を伝える仕組みの特徴と用途 ・リンク装置やカム装置 <p>○エネルギー変換に関する技術の評価と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境、経済、社会的側面からの評価 ・エネルギー変換に関する技術の活用 ・持続可能な社会 <p>「情報の技術」</p> <p>○コンピュータの仕組みを知ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5大機能・装置 ・デジタル化 ・データ量 | <p>○情報に関する技術の評価と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境、経済、社会的側面からの評価 ・情報に関する技術の活用 ・持続可能な社会 |

評価・評定のライン

| 観点別学習状況の評価 | 学習の実現状況 |
|-------------|-------------|
| A 十分満足できる | 80%以上 |
| B おおむね満足できる | 50%以上 80%未満 |
| C 努力を要する | 50%未満 |

| 各評定の範囲 | 評定 | |
|-------------|----|-----------|
| 90%以上 | 5 | 特に高い程度のもの |
| 80%以上 90%未満 | 4 | 十分満足できる |
| 50%以上 80%未満 | 3 | おおむね満足できる |
| 20%以上 50%未満 | 2 | 努力を要する |
| 20%未満 | 1 | 一層努力を要する |

技術・家庭科

■■■ 目標 ■■■

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

■■■ 各分野の目標 ■■■

【技術分野】

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

【家庭分野】

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を見つめるようにする。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

■■■ 評価の観点と方法 ■■■

観点①… 生活や社会で利用されている技術・家庭についての基礎的な知識や技能を身に付けている。

観点②… 生活や社会の中から問題を見出して、課題設定し創造・工夫し、課題を解決している。技術を適切に評価・活用している。

観点③… よりよい社会の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

【技術分野】

| 評価方法 | 観点① | 観点② | 観点③ |
|--------------|-----|-----|-----|
| 授業への取り組み | ○ | ○ | ○ |
| ファイルのプリントの内容 | | | ○ |
| ワークシートの記述内容 | ○ | ○ | ○ |
| レポートの完成度と内容 | ○ | ○ | |
| 作品の製作過程と完成度 | ○ | ○ | |
| 技能テストの結果 | ○ | | |
| 定期考査の結果 | ○ | ○ | ○ |

【家庭分野】

| 評価方法 | 観点① | 観点② | 観点③ |
|-----------------|-----|-----|-----|
| 授業の取り組み | ○ | ○ | ○ |
| ワークシート・ノート 記述内容 | ○ | ○ | ○ |
| レポートの内容 | | ○ | ○ |
| 作品の製作過程と完成度 | ○ | ○ | ○ |
| 提出物の内容 | | ○ | ○ |
| 定期考査の結果 | ○ | ○ | ○ |

■■■ 各学年の内容(家庭分野) ■■■

| | 第 1 学 年 | 第 2 学 年 | 第 3 学 年 |
|-------------|--|---|---|
| 一 学 期 | 家庭分野のガイダンス A 家族・家庭生活 ○家族・家庭と地域のかかわり * 家族の一員としてできることを考えよう ・ 家庭家族の機能 ・ 家族関係をより良くする方法 B 衣食住の生活 ○私たちの住生活 * 住まいの働き * 家族が暮らしやすい住まい方を考えよう * 健康を守る室内環境の整え方 * 住まいの安全 ・ 家庭内事故防止 ・ 災害に備える ○生活を豊かにする製作 * 作品製作 | 家庭分野のガイダンス B 衣食住の生活 ○健康と食生活 * 食事の役割 * 健康に良い食習慣 ○何をどのくらい食べればよいか * 栄養素の種類と働きを知ろう * 中学生に必要な栄養の特徴 * 食品に含まれる栄養素を調べよう * 一日に必要な食品の種類と既量 * 一日分の献立の工夫 ○生活を豊かにする製作 * 作品製作 | 家庭分野のガイダンス C 消費生活・環境 ○消費者の権利と責任 * 消費者トラブルと支えるしくみ A 家庭・家族と子どもの成長 ○幼児の生活と家族 * 幼い頃を振り返ろう * 幼児の心身の発達について知ろう ○生活を豊かにする製作 * 作品製作 |
| | 第 1 学 年 | 第 2 学 年 | 第 3 学 年 |

| | | | |
|-------------|--|--|--|
| 二 学 期 | <p>B 衣食住の生活</p> <p>○私たちの衣生活</p> <p>* 衣服の働きを知る。</p> <p>* 目的に合わせて自分らしく着よう。</p> <p>* 衣服を計画的に活用しよう</p> <p>* 衣服の選択について考えよう</p> <p>* 日常着の手入れと補修</p> <p>基礎技能</p> <p>○生活を豊かにする製作</p> <p>* 製作の基礎技能 ミシン操作</p> | <p>○生活を豊かにする製作</p> <p>* 作品製作</p> <p>○調理と食文化</p> <p>* 食品の選択と購入</p> <p>・生鮮食品</p> <p>・加工食品</p> <p>* 食品の保存</p> <p>・食中毒予防</p> <p>* 調理の基礎</p> <p>* 肉・魚、野菜の調理の工夫</p> <p>・調理実習</p> <p>* 地域の食文化</p> <p>・郷土料理</p> <p>・和食</p> <p>○食生活の課題と実践</p> <p>* 自分の食生活を振り返り課題を設定する レポート作成と発表</p> | <p>A 家庭・家族と子どもの成長</p> <p>○幼児の生活と家族</p> <p>* 幼児の生活と遊びを知ろう</p> <p>・幼児のおもちゃ</p> <p>・幼児のおもちゃを選ぶ工夫</p> <p>* 幼児の生活習慣の習得について考えよう</p> <p>* 幼児との関わり方を考えよう</p> <p>○生活を豊かにする製作</p> <p>* 作品製作</p> |
| | 第 1 学年 | 第 2 学年 | 第 3 学年 |

| | | | |
|-------------|--|---|--|
| 三 学 期 | <p>B 衣食住の生活</p> <p>○生活を豊かにする製作</p> <p>* 製作の基礎技能 ミシン操作</p> <p>C 消費生活・環境</p> <p>○私たちの消費生活</p> <p>* 消費者としての自覚</p> <p>* 買い物の法律的な意味</p> | <p>C 消費生活・環境</p> <p>○私たちの消費生活</p> <p>* いろいろな販売方法と支払い方法</p> <p>○消費者の権利と責任</p> <p>* 消費生活の及ぼす影響を考える。</p> <p>・社会 ・環境</p> | <p>A 家庭・家族と子どもの成長</p> <p>○生活の課題と実践</p> <p>* 幼児にとっての食事を考えよう</p> <p>・「おやつ工夫」</p> <p>○これからの私と家族</p> <p>* 子どもにとっての家族を考えよう</p> |
|-------------|--|---|--|

| 評価・評定のライン | | 各評定の範囲 | | 評定 | |
|-----------|------------|--------|-------------|-------------|-------------|
| | 観点別学習状況の評価 | | 学習の実現状況 | | |
| A | 十分満足できる | | 80%以上 | 90%以上 | 5 特に高い程度のもの |
| B | おおむね満足できる | | 50%以上 80%未満 | 80%以上 90%未満 | 4 十分満足できる |
| C | 努力を要する | | 50%未満 | 50%以上 80%未満 | 3 おおむね満足できる |
| | | | | 20%以上 50%未満 | 2 努力を要する |
| | | | | 20%未満 | 1 一層努力を要する |

英語科

■■■ 目標 ■■■

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。

- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

■■■ 評価の観点と方法 ■■■

知識・技能

観点①… 外国語の音声や語彙、表現文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができる。

思考・判断・表現

観点②… コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養うことができる。

主体的に学習に取り組む態度

観点③… 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことができる。

| 評価方法 | 観点① | 観点② | 観点③ |
|---|-----|-----|-----|
| コミュニケーション活動への取り組み姿勢・デジタルドリルコンテンツ等、提出物、振り返りの内容 | | | ○ |
| 定期考査・単元テストの結果 | ○ | ○ | |
| 表現活動への取り組み姿勢 | | ○ | ○ |
| 聞き取り・読み取り活動の結果 | ○ | | |
| 音読・暗唱・パフォーマンステストへの取り組み姿勢・結果 | | ○ | ○ |

- ・単語や連語および慣用表現の選択の幅が広がったことを踏まえ学習させる
- ・4技能5領域を総合的に育成する
- ・辞書の使い方に慣れ、活用できるようにさせる
- ・学習者用デジタル教科書の活用を促し、自ら学ぶ学習者を育てる。

評価・評定のライン

| 観点別学習状況の評価 | 学習の実現状況 |
|-------------|-------------|
| A 十分満足できる | 80%以上 |
| B おおむね満足できる | 50%以上 80%未満 |
| C 努力を要する | 50%未満 |

| 各評定の範囲 | 評定 | |
|-------------|----|-----------|
| 90%以上 | 5 | 特に高い程度のもの |
| 80%以上 90%未満 | 4 | 十分満足できる |
| 50%以上 80%未満 | 3 | おおむね満足できる |
| 20%以上 50%未満 | 2 | 努力を要する |
| 20%未満 | 1 | 一層努力を要する |

■■■ 各学年の内容 ■■■

| | 第 1 学 年 | 第 2 学 年 | 第 3 学 年 |
|---|---|---|--|
| 学 期 | Unit 0 Nice to Meet You クラスメートとあいさつしたり、好きなものをたずね合ったりすることができる。 | Unit 0 My Spring Vacation クラスメートと春休みにしたことを伝え合うことができる。 | Unit 0 Discover a NEW Side of Classmates 既習の現在形や過去形, because などをを用いた文を理解できる。 |
| | Sounds and Letters 0 | Unit 1 What can we experience on a trip? 旅行の予定を説明したり、海外で経験できることなどについて伝えたりすることができる。 | Unit 1 What is special about Japanese pop culture? 現在完了形(経験用法)の文を理解し、表現できる。 |
| | Grammar for Communication 0 | Real Life English 1 機内放送 機内放送を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。 | Real Life English 1 ディスカッション ディスカッションを聞き、自分の意見を考えるのに必要な情報を理解することができる。 |
| | Unit 1 Hello, Everyone! 自分のことを伝えたり、相手のことをたずねたりすることができる。 | Grammar for Communication 1 | Unit 2 How do you choose your clothes? 現在完了形(完了・継続用法)の文を理解し、表現できる。 |
| | Sounds and Letters 1 | Unit 2 What is local food? 好きな食べ物について、理由や考えと共に紹介することができる。 | Real Life English 2 講演 社会的な話題に関する講演を聞き、話し手の伝えたい内容を理解することができる。 |
| | Unit 2 Our New Teacher 身近なひとやものについて紹介したり、たずねたりすることができる。 | Real Life English 2 旅行先で 場面や相手に応じて、ていねいに許可を求めたり、依頼したりすることができる。 | Unit 3 How can we save animals? It-for...to~, want+ (人など) + to, let [help]+ (人など) +動詞の原形の文を理解し、表現できる。 |
| | Sounds and Letters 2 | Grammar for Communication 2 | Real Life English 3 グラフや表の活動 資料から読み取った情報について、事実と意見をわけて書くことができる。 |
| | Grammar for Communication 1 | Unit 3 What kind of job are you interested in? 将来像や夢などについて考え、取り組んでいきたいことについて説明することができる。 | Stage Activity 1 Discover Japan 日本や郷土の文化などについて、詳しい情報を加えて説明することができる。 |
| | Unit 3 Our School 知らないものや人についてたずねたり、いつ・どこなのかをたずねたりすることができる。 | Real Life English 3 仕事についてのインタビュー インタビューを聞き、質問の内容や答えを聞き取ることができる。 | Let's Read 1 A Mother's Lullaby 物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを理解することができる。 |
| | Sounds and Letters 3 | Learning Technology in English | |
| Grammar for Communication 2 | Grammar for Communication 3 | | |
| Unit 4 Friends in New Zealand 数や時刻、好きなものについてたずねたり、指示や助言をしたりすることができる。 | Stage Activity 1 My Favorite Japanese Food 自分のいちばん好きな日本食について、その特徴や好きな理由を発表することができる。 | | |
| Grammar for Communication 3 | | | |
| Stage Activity 1 "All about Me" Poster 自分の好きなことについて、つながりのある文章を書くことができる。 | | | |

| | 第 1 学 年 | 第 2 学 年 | 第 3 学 年 |
|---|---|--|---|
| 二 学 期 | Unit 5 My Brother in Hawaii 自分と相手以外の人やものについて、たずねたり伝えたりすることができる。 | Let's Read 1 History of Clocks 説明文を読み、時計についての歴史を読み取ったり、説明したりすることができる。 | Unit 4 How can we help each other in a disaster? 間接疑問文, SV00 (what 節), 現在/過去分詞を理解し、表現できる。 |
| | Real Life English 1 コマーシャルを聞き、必要な情報を聞き取ることができる。 | Unit 4 What is important in a homestay? 海外との生活習慣や文化のちがいを知り、取るべき行動についての考えを伝えることができる。 | Real Life English 4 町中での手助け 相手の立場に立って、具体的な提案をしながら申し出たり応じたりすることができる。 |
| | Grammar for Communication 4 | Real Life English 4 ホームステイのお礼状 お世話になった人に、手紙で感謝の気持ちを伝えることができる。 Grammar for Communication 4 | Unit 5 What makes a good leader? 関係代名詞 (主格・目的格) を用いた文を理解し、表現できる。 |
| | Unit 6 A Rakugo Performer from the U.K. 自分と相手以外の人について話したり、だれのものかをたずねたりすることができる。 | Unit 5 What design is good for everyone? だれもが暮らしやすい社会について考え、その方法などについて伝えることができる。 | Real Life English 5 記事への意見 社会的な話題について、理由や根拠を含めて自分の意見を書くことができる。 |
| | Real Life English 2 身近な人に許可を求めたり、依頼したりすることができる。 | Real Life English 5 アナウンス・案内 展示・販売会で流れるアナウンスやスタッフの案内を聞き、イベントなどの情報を聞き取ることができる。 | Stage Activity 2 Report これまでの経験をふり返って活動報告を発表することができる。 |
| | Grammar for Communication 5 | Learning Social Studies in English | Unit 6 What does it mean to be a global citizen? 仮定法 (I wish I could [had] ...) (If+主語+were ..., ~.) (If+主語+動詞の過去形, ...) 主語を説明する関係代名詞を理解し、表現できる。 |
| | Unit 7 An Online Tour of the U.K. 今していることについて説明したり、たずねたりすることができる。 | Unit 6 How can we make a good presentation? 身近なトピックについて調査を行い、データを比べて発表することができる。 | Real Life English 6 テレビの国際ニュース ニュースなどのテレビ番組の音声聞いて、概要や要点を理解することができる。 |
| | Real English Life 3 徒歩での道順をたずねたり、教えたりすることができる。 | Real Life English 6 電車の乗りかえ 状況や相手の要望に応じて、乗り物での行き方を伝えることができる。 | Stage Activity 3 Let's Have a Mini Debate 主張とその理由を明確にししながら、ディベートをすることができる。 |
| | Grammar for Communication 6 | Grammar for Communication 5 | |
| | Unit 8 Think Globally, Act Locally したいことや、する必要のあることなどについて説明したり、たずねたりすることができる。 | Stage Activity 2 My School and School Life 自分の学校や学校生活について、具体例をまじえながら説明することができる。 | |
| Real Life English 4 レストランなどで、注文をしたり質問に答えたりすることができる。 | Let's Read 2 A Glass of Milk 物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちをこめて音読したりすることができる。 | | |
| Stage Activity 2 My Hero 好きな有名人やあこがれの人についてたずねたり、説明したりすることができる。 | | | |

| | 第 1 学 年 | 第 2 学 年 | 第 3 学 年 |
|-------------|--|---|--|
| 三 学 期 | Unit 9 Winter Vacation 過去の出来事について説明したり、たずねたりすることができる。 | Unit 7 What are World Heritage sites and their problems? 世界遺産について知り、その特徴や価値を説明することができる。 | Let's Read 2 Power Your Future エネルギー問題に関する説明文を読んで、概要を理解し、自分の考えや意見を述べることができる。 |
| | Real Life English 5 旅先からの便り 旅先からの絵はがきを書くことができる。 | Real Life English 7 買い物 自分の好みや要望を伝えながら買い物をすることができる。 | Let's Read 3 Coloring Outside the Lines 伝記を読んで、人物の歩みや功績を読み取り、自分の感想を述べるすることができる。 |
| | Grammar for Communication 7 | Grammar for Communication 6 | |
| | Unit 10 This Year's Memories 過去の状態や気持ち、過去のある時点でしていたことについて説明することができる。 | Stage Activity 3 Let's Have a Discussion 自分の立場を明確にして、意見を述べるすることができる。 | |
| | Real English Life 6 症状やこれまでの出来事などを伝えることができる。 | Let's Read 3 Pictures and Our Beautiful Planet 人物の伝記を読んで、時系列を整理しながら内容を理解することができる。 | |
| | Grammar for Communication 8 | | |
| | Learning Literature in English | | |
| | Stage Activity 3 My Favorite Event This Year 思い出に残った出来事について発表することができる。 | | |
| | Let's Read Gon, the Fox 物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちを込めて音読したりすることができる。 | | |
| | | | |
| | なお、単元ごとにデジタルドリルを活用し、習熟度を測るとともに振り返りを行う。 | | |